京城日報

廿七日夕刊

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾錢
廣告料　五號活字一行金七拾錢
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

○米州兵出征

各州兵は國境に向て出征すべしとの命に接し二十六日數千の軍隊は其の途に上れり（紐育電報）

○米墨萬一開戰せば

倫敦來電に曰く萬一米墨開戰の節は墨西哥に於ける米國の事務は英國の代表者之を引繼ぎ處理す可く華盛頓に於ける墨西哥の利益は佛國代表者此れが保護の任に當る可し（紐育電報）

○鹽稅剩餘金問題解決

鹽稅剩餘金引渡問題は佛國の讓歩により解決せり之れと同時に米國の資本も入り來る事となり支那政府の財政は一時的小康を得べし（東京電報）

○副總統爭奪か

南北兩派は暗中飛躍を試み副總統の位置を爭奪し居れり是れ副總統として無能なる黎總統の下に總統の實權を握りて天下に號令せんと欲するが爲なりと傳へらる（東京電報）

○滿洲日支銀行

日支民間實業家により合辦事業として企劃せられたる滿洲日支銀行設立の議は大に進捗せりとの報あり（東京電報）

○ヴェルダン　要塞危機に臨む

巴里來電に依ればヴェルダンは今や危急存亡の時機に臨めり即ち獨軍は茲に愈々最後の突進を行はんとて要意をさく怠りなくヴェルダンが一般的戰局の上に其の生命を失ふべきの時機刻々に迫りつゝあり（倫敦電報）

○兩軍死力を盡すコウエル

獨軍之を失はゞ恐る可き結果に陷らん＝獨軍の露軍牽擊

一度コウエルを失なはゞ其の結果は恐るべき災厄を味方に齎すべきことを獨軍は充分に意識し絕對絕命の大々的努力を發揮し此の附近に於ける寸尺の地を爭奪しつゝありて敵味方共死力を盡して攻めつ攻められつ勝敗の數未だ容易に定まらず若しコウエルにして露軍の手に落ちんか同地方に於ける獨軍は其の戰線の危態に瀕すべきを慮り忽ちボリシーを放棄してブレストリトウスクに退却せざるを得ざるの必要に際會すべし露軍の中央及びドヴイナ戰線に對する獨軍の活動は悉く皆露軍をして其の軍隊を南方に移動せざらしむる爲の目的に外ならざるべしスモルゴンの北方なる露軍戰線を突破せんとする獨軍の努力は今迄の處全然失敗に終れり（露都電報）

○伊軍陣地を奪還す

羅馬來電に曰く伊太利軍はトレンチノ全線に亘りて進擊し最近墺軍の爲めに占領せられたる陣地を奪還し墺軍が逃亡の際遺棄し去れる軍需品彈藥食糧品等を鹵獲しつゝありと伊國民は此の報道に接して歡喜しつゝあり（紐育發電）

▲猛烈に墺軍追擊　羅馬來電公報に曰く墺軍はトレンチノに於て退却を開始し伊軍は數個の陣地を奪還し猛烈に敵を追擊しつゝあり（倫敦電報）

○外宮屋根修築

伊勢外宮の屋根朽廢の個所を生じたるを以て近日之れを修築する事に決定せり（東京電報）

○樞密院委員會

廿七日午前九時より樞密院委員會を開催し工場法施行令案に就き逐條審議を凝らせり（東京電報）

○ルーム總督

佛領印度支那總督エー、ルーム氏一行は二十六日午後八時三十分大阪驛通過、西下歸國せり（大阪特電）

○中樞院例會

中樞院にては三十日午後二時より院內會議室に於て例會開催、寺內總督山縣議長、李副議長、小松書記官長以下顧問、贊議、副贊議等出席、總督の示達ある筈なり

○慈惠院長會同（第二日）

道慈惠醫院長會同第二日は二十七日午前九時より總督府第二會議室に開催、出席者前日の如く宇佐美內務部長官統裁の下に直ちに日程に入り諮問事項の答申及び院長の提出意見ありて午後三時散會したり

○辭令傳達式

二十七日午前十一時三十分總督室に於て總督府事務官本田鑑、鐵道局副參事澤崎修、中村寬猛三氏の辭令傳達式を擧行し寺內總督より其々辭令を傳達したり

◎長官會議休會　二十七日は定例長官會議日なるも當日は故朴齊純子爵の葬儀あり、長官等何れも參列せるを以て休會となれり

○軍司令官檢閱

既報の如く井口駐劄軍司令官は廿一日朝龍山發江原道金化守備隊檢閱の途に上れり卅日午後五時廿二分歸任の豫定なり

◎市川旅團長歸任

團隊長會議の爲め入京中なりし市川平壤第三十九旅團長は二十七日朝龍山發歸任せり

◎赤十社長弔詞

日本赤十字社朝鮮本部評議員子爵朴齊純氏の逝去に對し此程山縣本部長より本社長花房子爵の弔詞を傳達せり

◎朴子葬儀參列

故朴齊純子爵の永訣式は別項記載の如く二十七日午前十時より龍山停車場前にて執行せられたるが總督府よりは總督代理森武官、山縣政務總監、石塚、荒井、宇佐美、國分の各長官、小松翰長、兒島局長等參列したり

◎伊澤修二氏入京

貴族院議員伊澤修二氏は豫て滿鮮視察の爲め滿洲方面視察中なりしが二十六日安東方面より入京長谷川町立花邸に滯在中なり

◎慶北各地水害

既電の如く二十一日以來の豪雨にて慶北各地共近來稀に見る水害を被りたるが何れも交通杜絕の狀態にて二十五日迄慶北道廳及び警務部に達したる情報によれば

▲大邱永川間　は橋梁暗渠六箇所流失し河陽附近の二等道路約百間は崩潰して濁流を浸し車馬の往來全く杜絕せり

▲大邱安東間　漆谷郡多富院橋、巨門橋、柳木橋の三大橋は遂に墜落し軍威郡孝令面の切取り崩壞箇所及び多富院峙の大切取り崩壞、安東郡一直面の今赤壁の稱ある見返り橋附近の大彎曲道路は全部決潰流失一面茫洋として何が路線なるを知る能はず

▲金泉以南　居昌を經て晋州に至る線路は慶南道堺まで知禮橋を除くの外橋梁全部約二十五六箇所墜落又は流失し道路十數箇所の決潰を見るに至れり

▲金泉以北　尙州、醴泉、榮州地方は未だ詳報に接せざれど全部交通杜絕尙州郡界に到る二等道路破壞五箇所奉化郡乃城の五十間暗渠破壞三箇所の如きは電信電話の不通を見るに至れり

▲金泉市街　就中被害の激甚なりしは金泉市街にして甘川增水十一尺五寸に達し殆んど鐵道鐵橋桁に達せんとし市街は旭町、本町、錦町の全部及び黃金町山下町の一部浸水し官憲協力し本願寺、小學校、普通學校を避難所に充て廿三日徹夜二回九百五十人に焚出をなせり而して流失家屋四戶（內地人一戶）全潰家屋十八戶（內地人二戶）浸水家屋四百四戶（內地人八十戶）木橋破損二箇所長さ三十二間、甘川護岸工事昨年新築の箇所は三分の一破壞を見るに至れり

◎塗料會社設立協議

仁川塗料株式會社設立の件に關しては過日第一回協議會を開き該事業に就き詳細調査の爲め委員を設け愼重調査中なりしが此程漸く調査終了したるを以て來る二十九日午後七時半より會議所樓上に於て報告を兼ね第二回協議會を開催すべし

◎相互貯金會社申請

過日發起人會を催したる仁川相互貯金株式會社創立の件は諸般の創設準備完成したるを以て二十四日其筋に對し認可申請を爲せり

◎水原組合評議員　二十五日擧行の水原學校組合評議員三名補缺選擧は曾てなき大激戰となり二十日以來尾崎秀八、北澤小八郎、野本德次郎氏等各戶別運動を開始せしを以て水原の所謂元老連近藤、香山、野中、坂手、宮永氏等も遂に默視するに不忍水原將來の爲め不得止選擧當日に至り酒井政之助、櫻井龜吉、森元俊之助氏等に强て候補者たる事を承諾せしめ其れ其れ手配せしが投票閉鎖一時間前に至り選擧狀態一變し開票の結果元老派勝利を見るに至り森元俊之助、酒井政之助、櫻井龜吉の諸氏當選したり

◎獻金申込高

京城府にて取纏め中なりし明治神宮奉贊會の獻金申込豫定は最低額を一萬圓として募集したるに五月末日迄の締切期間後に於ても續々申込あり兩三日前迄に總額一萬六千餘圓に達したるが尙ほ一二重要會社の未濟なる分もあれば全部の締切迄には一萬七八千圓に達す可く豫期以上の好成績を擧げ得たりと

◎降雨と人參作

專賣課開城出張所所管に係る人蔘特別耕作區域の栽培地積は總計百卅七萬間にして此內六年根即ち本年採取す可き人蔘の耕作地積は六十四萬間、一年根即ち本年移植の分は約卅四萬間なるが、本年は各根を通じ降雨頻繁なるより元來無作的作物たる人參の事とて既に濕潤に過ぐる傾あり、今後の天候適順ならむには損害を見るに至らざる可きも降雨尙ほ繼續せば成育良好ならず本年の採取額に影響すべしとて昨今當業者は何れも憂慮し居れり

大田

▲長官一行　小原忠南道長官及び小松事務官は儒城溫泉を經て歸公の筈なりしに爾來降雨の爲め道路崩壞し行通出來難く又湖南線江景附近刻々增水するのみならず彼等害甚しき模樣なるを以て廿六日來田被害地視察をなし郡廳に立寄り事務視察の上一時發列車にて江景被害地視察に向へり

▲委員會開會　大田大神宮は蘇堤湖畔松林中に建設せられあり參詣者四時賑はへるを以て同建設地を大田にて買取り附近を公園にすべく計畫されたるに土地は鮮人共有地にて當方の需に應せざるを以て諸般の後策を寄々協議中なりしが此際大田神社と稱すると同時に先般神社寺院令發布せられたる爲め、委員會を行ふべく二十五日學校組合會議室に神社建設當時の委員及び協議會議員にて協議會を開きたるに出席者十三名に過ぎざるを以て下協議をなし置き改めて開會する事とし散會せり

▲鈴岡副官　忠淸南道警務部副官の同氏は廿六日午前時二十五分來田直に憲兵分隊に至り事務視察の上千葉旅館に投宿せり

▲實業協會長　大田實業協會にては辻氏會長を固辭し爲め理事協議の上名譽會長を推薦する事となりたる由なるが聞く所によれば副會長として盡瘁する事となり擔れば澁谷漢湖鹿行支店長を推す者もあれば或は同氏就任を見るに至るやも知れず

▲起債認可　當地學校組合にて三千圓の起債を爲すべく其筋に認可申請中なりしが右は二十二日附を以て認可ありたり

▲湖南線不通　强雨襲來の爲め湖南線は裡里までとし折反し運轉し居れるが開通見込立たず應急工事も出來難く木浦方面旅行客は一般に中止し居れり從つて郵便物も不通なり

◎支那全艦隊獨立宣言

（電文不明）支那の全艦隊を李鼎新、林葆懌、曾兆麟、各提督指揮の下に呉淞に集中し最初の憲法を復活し再び議會の召集を行ひ適當なる內閣員の任命が實現せらるゝ迄支那海軍省の命令に服從せざる旨の宣言を爲せり

▲海軍司令官の宣言

海軍總司令は黎元洪氏に對する服從の宣言を爲したれども同時に黎元洪氏は其の意見を自由に發表し又は其の行動を自由にする事能はず支那に於ける共和政は現今に於ては名義に止まり實際に於て同國は專政的軍國主義者に依りて支配せらるゝある旨を宣言せり（上海特電）

◎宗社黨升允の畫策

蒙藏新疆と連絡を圖らんとす

宗社黨の升允は部下を外蒙古に派して淸朝復辟を唱へ內外蒙古新疆西藏を連絡するの計畫あるより蒙藏院は將軍に其警戒方を電命せり（奉天特電）

忠州

▲忠州郡農況　稻の插秧は八分通りを終へ本月中に全部終了の見込なるが生育極めて良好にて插秧期に入りて雨量多かりしに拘らず被害の箇所なく殊に本年は各面に技術に堪能なる農業教師を配置し片正條植を奬勵し優良種の普及に努めたるが成績良好なり

▲成繭販賣　忠州堤川丹陽三郡の成繭は約七百石にして三郡聯合共同販賣期日は來る七月十八日の豫定なるが本年は價額暴騰し殊に成績佳良にして三萬圓以上に達する見込なるが忠州共同乾繭所は近來雜沓を極め居れり

▲憲兵懇親會　忠州憲兵分隊管下分遣所派遣所出張所長會議は二十日終了したるを以て有馬分隊長は會議に出席したる所長以下分隊員一同及び各官廳主腦者各主任五十餘名を來賓に招待し同日午後八時懇親會を催し主客歡を盡し散會したるは午後十二時なりき

▲軍人總會　帝國在鄕軍人會忠州分會にては二十五日忠州憲兵分隊に於て總會を開き軍人會本部の諮問事項を協議し忠州守備隊商橋中尉の新式體操に關する有益なる講話ありたり

大邱

▲府協議會開會　二十七日午後六時より大邱府廳樓上に於て府協議會を開き左の條項に就き協議せり

▲諮第一、時別稅、營業稅、雜種稅條例中改正の件▲諮第二、大正五年度大邱府歲入出豫算追加の件▲諮第三、大正五年度大邱府歲入出豫算更正の件▲諮第四、營業稅にかゝる過年度府稅及び使用料手數料缺損處分の件▲報告、現狀公開內神社使用の區域返還の件

▲大邱附近の降雨量　大邱測候所の調査によれば今回の降雨は六月一日以來二十七日に至る總雨量三百七十四粍にして二十一日豪雨以來實に百九十六粍を示すに至れり六月に此の如き雨量を示せるは例年になき現象なりと

▲矢島事務官出發　今回黃海道事務官に榮轉されたる矢島杉造氏は二十八日午後一時二十四分の北急行にて任地へ出發

▲中山法院長歸廳　管內巡視中の中山大邱覆審法院長は降雨の爲め木浦に滯在中なるが三十日には歸廳の筈

釜山

▲第四尋常增築　釜山第四尋常小學校にては今回教室の增築を行ふことに決定し去る廿六日午前十一時府廳にて受負入札を行ひしが其の結果三千八百四十八圓にて京城府請負業者谷口小次郎氏に落札したり

▲釜山繁榮會　釜山繁榮會にては去る廿五日午後八時より鳴戶樓上にて例會を開きしが出席者卅餘名にして席上釜山土產選定の件並に旅客の便宜を圖らんが爲め自動車運轉の件等を協議し其の結果調査委員六名を擧げ午後九時半頃散會せり

人事消息

▲岡島第七十七聯隊長　廿七日朝退京

▲谷澤三十九旅團副官　同上

▲木村鮮銀理事　廿七日夜八時歸京の豫定（朝刊誤報）

▲遞信局貯金管理所長　二十七日夜發東上の豫定

▲磯田直三郎氏（釜山中學校長）　二十六日歸任

▲藤川利三郎氏（稅務課長）　本月末歸任の豫定

▲本田幸介氏（農學博士）　廿六日夜釜山を經て內地へ

▲鈴木旗太郎氏（朝鮮醫學支配人）　廿五日東京より歸任

▲花井又太郎氏（總督府技師）　廿六日釜山より內地へ

□國境の一日

中島生

○批峴にて川上平北道長官と義州行を約したれば、廿三日は早朝五龍背を發し安東驛に着、同勢五人俥を連ねて新義州に向ふ。宛ら一個の觀光團也。帝國の兵士に兩岸を警備されたる鴨綠江の大鐵橋を渡り、新義州にて加藤鴨江日報社長の好意により自動車上の客となり、薰風を衝いて義州に走る

○義州に到着、直ちに道廳に川上長官を訪ひ、國境の經濟事情につき短時間にて出來得る丈けの智識を蒐集し、午後長官は一行を有名なる統軍亭に導きて午餐會を開き鄭重なる饗應あり。統軍亭の眺望絕佳、鴨江は眼下に流れ、風物雄大眞に天下の好勝也（統軍亭の事は別に記すべし）

○午後は稅關のランチにて鴨綠江を下り四時新義州に着、營林廠の製材所を齋藤廠長の案內にて隈なく視察し、夕刻は第二級新舘に於て深川府尹の招待會に列なり、重なる官民諸氏と親しく歡談を交ふるの機會を得たり。

○一行は此夜新義州に一泊する事となり、小生は他の四君と名殘りを惜みつゝ宴席を辭し安東縣に俥を急がせ夜行列車にて奉天に向ひ申候、小生が安奉線車中に短かき夏の夜の夢を早くも結べる頃は、他の四君未だ酒興の眞最中なりしならむ（奉天にて二十四日）

法人登記公告

一財團法人設立、名稱サルタレル財團、目的慈惠救濟教育及感化事業所京城府朝鮮總督府內、資產參萬九千參百五拾弐圓四拾九錢、理事ノ氏名住所京城府和泉町六番地宇佐美勝夫

右大正五年六月弐拾四日登記

京城地方法院

パナマ　七拾錢　各種一圓　送料實費

半打以上は割引　定價表送附

東京神田和泉町一　茂木製帽合名會社

東洋ボックス皮製編上靴

第三號ボックスカーフ製　金三圓五十錢均一

紳士向優良品　金四圓均一

一枚皮深ゴム及トシビ形編上靴　金五圓均一

三倉商會高等靴店

大

特製かや各種　ゆかた地大賣出

杉柄澤山有升

六月二十三日より二十九日まで

京城本町二丁目　山口呉服店

◎自動廻轉式キネン萬年筆◎

五拾錢

特製上等クリップ付　ペン先金輪付　定價金一圓　廣告の爲め千本限り　送料共箱入特價

好期を逸せず至急申込あれ

內外文具商　大阪　松田大寶堂

故朴子爵葬儀 (上)遺族燒香 (下)葬列

乃木神社の神刀
鍛冶名匠備前祐定翁會心の作

桃山御陵下の乃木神社の神刀は去る三月十九日上棟式當日より鍛刀中の處此の程に至り出來せり鍛工は備前長船鍛冶君萬歲友成六十代の遠孫横山龍潜士祐定翁にして翁は自己一代にて連綿たる長船鍛冶の血脈の絶ゆべきを慮り一期の思ひ出に祖先に劣らざる名刀を鍛へて後世に遺さんものと數多の門人中より伊豫西條生れの高橋義宗岡山生れの祐次の兩名を選拔し來りて乃木神社神前に「バラック」式の鍛冶場を設け毎朝齋戒沐浴して鍛刀に從ひ用水の如きも總て宇治川の水を用ひて大小十七本を鍛造したるも何れも意に滿たず十八本目に至りて漸く會心の作成り既に仕上を終りて目下銘文の選定中なるが該神刀は長さ二尺五寸五分幅一寸二分の備前傳本造り燒刄は小丁字亂にて盛んに足の入りたる一見寒毛卓立つばかりの大技物にて古刀の長光兼光にも劣らざる銘刀なりと(大阪)

重要地點を寫生す
支那人と共謀せる退役水兵

追濱海軍航空隊裏手鉈切字向島の海岸にて二十三日雪白の洋服を著したる一見紳士體の二人連の男が二尺餘のカンバスに附近の寫生を爲し居たるを駐在巡査が聞付け探偵の結果内一人は當時鉈切の權谷仙藏方同居退役水兵にて横須賀海軍建築部汽罐の水夫たる福島縣白川郡豊田村字實坂手元榮五郎三男豊田政吉(二六)と判明せるより駐在三村巡査は同日午後六時同人方へ踏込居合せたる洋畫家及び一葉の寫生畫を押收し一先づ田浦町派出所に引致取調べたるに右洋畫家は横濱市山下町に居住せる日本人なりと申立てたるも言語圓滑ならざるより追究の末遂に包み切れず數年來同市山下町に居住せる支那人雜貨商の倅偶傳(三)なる事判明せり、政吉は以前同家の雇人なりし關係上二十三日鉈切に來り共謀の上同隊の裏山一帶及び東京灣中軍事上最も重大なる要島に寛け詳細描き上げ賣國的利慾の目的に供せんとせるものなる事判明し事體重大なるより同夜行列車にて横須賀警察署に送り目下嚴重取調中なりと(東京)

悲雨蕭々
故朴子爵の葬儀

故中樞院顧問勳一等子爵朴齊純氏の葬儀は既報の如く二十七日午前八時安洞の子爵邸を發靷し鍾路通より光化門通に出で太平町より南大門を經て龍山停車場前設けの式場に入りたり

▲發靷の順序 は朝鮮葬式の古興例に依り先づ警炬左右に二つ宛燈を掲げて走り其の後より麻布を被りたる乘馬の哭婦二名附香床の行者二名進み次に寺内總督寄贈の黄紗龍五隻次に朝鮮總督府中樞院顧問勳一等從三位の銘旌及び湖西諸軍の司命旗進み其の後より品燈、神幡、腰輿、別陪、侍陪及び乘馬陪行員隨ひ中央に功布及び勳一等旭日章其他の

▲勳章を捧持 する者五人其の左右には總督府各部局長官及び多數の朝鮮貴族稽紳より寄贈に係る赤色紗龍八十隻各一列に並び次に廟祝進み靈柩は前後左右の奉香蓮花燈、數十個の白紗旺燈紗龍等に圍繞せられ當年十二歲になる喪主朴殷伊氏は腕車にて從ひ次いで有服親無服親及び葬儀委員會葬者等行列の長さ約十町に及ぶ

▲此の日朝來 悲雨蕭條として降り葬列の式場に著したる頃は宛然車軸を流すが如く降り注ぐ靈柩式場に安置せらるゝや第七十五聯隊第一大隊長小柳少佐の指揮せる儀仗兵一個大隊の吹奏する哀の極の喇叭は豪雨の中に響き渡りて人をして轉た哀涙を催せざらしめたり、雅て喪主の燒香あり寺内總督代理森武官、德壽宮名代李恒九、昌德宮名代朴昌彬、山縣政務總監、井口軍司令官名代、立花師團長代理等の燒香あり次に親族及び

▲一般會葬者 の燒香ありたり雨は愈々降り頻る午前十一時三十分再び起る儀仗兵の哀の極の吹奏裡に式は終り靈柩は十一時四十分雨中を藝所富川に向け式場を發靷したり當日の重なる會葬者は總督府各部長官朝鮮貴族朝鮮銀行及び東拓重役其他内鮮紳士の會葬者五百餘名なりき

内地の大洪水

▽近畿地方最も甚し

降雨連日歇まず大坂府下各河川增水著しく其筋にては撤夜警戒しつゝあり近縣各地の被害は二十七日朝迄の著報に據れば島根縣下は洪水の爲め家屋二百五十戸に浸水し廣島縣下岡山縣下にも浸水箇所あり、山陽線は和氣、萬富間不通、京都、丹波、攝津の各鐵道線路も亦被害多く京阪電鐵の宇治線、京電伏見京都間、阪鶴線の有馬線等總て洪水のため不通となれり、京都府下は伏見の三百戸を初め各所に浸水家屋少なからず、琵琶湖沿岸は浸水二千町歩に及び猶刻々增水し氾濫の恐あり(大阪特電)

朝鮮の犯罪
年々複雜になる

▽本町署で五箇月間に二千件

□京城に來て居る内地人は職業の種類からも社會的の階級からも内地の二三流の都會に比して遜色のない位に雜多な狀態になつて居る從つて年々各警察署で取扱ふ事件も却々複雜で且つ其數も多くなつて來た

□今京城本町署で一月から五月迄の五箇月間に取扱かつた司法係の犯罪檢擧數を調べて見る

□犯罪總件數が二千百十九件其の檢擧件數が二千五百二件取調べの上檢事局に送つた取扱人員が二千百六十人となつてゐる、犯罪の重なるものは窃盜であつて檢擧したものゝみで四百五十一件其人員二百八十八人、其他に多いものは横領と詐欺とである窃盜は主として朝鮮人の小泥棒、横領は店員の業務上使ひ込みが大部分を占めて其れに近來は重石に關する詐欺が頗る增わてゐるといふ其他の犯罪は遙かに少數で賭博、傷害、文書僞造、贓物に關する罪、住所を侵す罪といふ順で賭博は朝鮮人が多く傷害犯は内地人に多い

□其れから住宅侵入といふは主に朝鮮人の泥棒が金品の窃取に至らず發見逮捕されたものである、其他取扱ひに係るものとしては强盜、姦淫、恐喝、器物毀棄、阿片煙に關する罪、殺人、失火、放火、誘拐、通貨僞造、過失の致死或は傷害、墮胎、遺棄、誣告、印章僞造、犯人の隱匿、僞證、暴行等である

□檢擧の人員から見て、内地人が五百五十七人、朝鮮人五百七十三人、支那人二十五人、外國人が五人となつてゐる、内地人の比較的多數なるは京城に内地人の居住者が多數であると共に、滿洲朝鮮を放浪して歩いたものは大抵京城に流れ込んで來る關係もある

□これから盛夏になると惰氣を催すと共に心理的に節制力も鈍つて興奮し易くなると見ゐて統計の上には傷害等の罪が多くなつて來る

大阪堀江演舞場の全燒

二十七日午前四時三十分大阪堀江演舞場より出火したるが折柄降雨中なりしと防火壁ありし爲め他に延燒せず同六時鎭火したり原因は二十六日午後六時より開催したる義太夫會の後始末粗漏なりし爲めとの說と漏電との說とあり其の孰れなるや未だ判明せざれども前說に近きが如し同場は建築費十三萬圓を要し輪奐の美を誇り宛然美術殿の觀あり大正三年春落成式を擧げて以來木の舞踊三回興行したるのみ總坪數四百七十一坪も取出されず烏有に歸したるは惜しむべし尙同場は根國正同千代田生命保險會社に約三萬圓の保險あり(大阪特電)

嫉妬から放火

京畿道楊州郡州内面下里居柳大愛(三一)は數年前八歲の年少なる金義完の妻となり前記の箇所に同棲して酒幕業を營み居れる内金義完は同面弘門里朴春西の妻金敬順と相通じたるより嫉妬の極抑へ難く去る五月一日夜朴春西方の居宅に放火して燒失せしめたる爲め檢擧せられ京城地方法院に於て此程懲役二年六箇月の處分となる

往來で大喧嘩

京城旭町一丁目機械職工森山正太郎、大和町二丁目土井某の兩名は二十五日夜酩酊して旭町一丁目を通行中是も泥醉して通り蒐れる義州通二丁目鄭昌文、長谷川町朴在淳の兩名と衝突し足が縺れ合つた事より四人は入り亂れて大喧嘩を初めたる騷ぎに巡廻中の本町署の警官が驅付け四名を本署に引致し一夜の保護を加へ翌朝將來を嚴戒して放還したり

湖南線愈開通

湖南線松汀里羅州間は廿六日午後十時四十分、裡里芙蓉間は廿七日午前四時共に復舊工事竣工、列車開通する事となれり

鬼夫婦

全北南原郡山東面釜節里居住農金允善(三九)及び其の妻朴奇順(三〇)の兩人は本年四月廿五日頃女子を分娩したるも生計貧困にて養育出來ざるより夫婦相談の上同月二十七日午前三時頃授乳中の嬰兒の背部を拳骨を以つて亂打し卽死せしめ死體を人知れず埋葬し素知らぬ顏をして濟し居たるをこの程に至り南原憲兵分隊釜洞出張所にて探知し兩人を逮捕せり

猫婆

京畿道金浦郡高村面鐵湖里五統四戶金鍾烈(四七)及び同里金泰増(二八)の兩名は昨年七月二十六日漁業先より船に乘じて居洞に向け漢江を航行中高陽郡龍江面上水里附近の河上に於て京城岡崎町村木商清水太郎所有の檜材一本漂流せるを發見之を拾得し自宅に持ち歸り居りしを此程金浦警察署にて發見せられ仁川支廳に送られ各笞六十宛の判決を言渡されたり

父と弟を斬る

二十四日午前六時東京麻布區富士見町電氣局廣尾出張所小使石井三之助(六七)の長男幸太郎(二七)は酒を呷りて歸宅し及渡り一尺二寸の出刄庖丁を振り廻し父に斬り付け止めんとせし弟源助にも手に三寸の傷を負はせ自分も左手に三寸の傷を負ひ血塗れになつて狂ひ廻る處へ急報に依り鳥居坂署より係官出張して漸く取鎭めたるが幸太郎は腦病の爲め時々發作的に暴行を爲し家人も殆んど持て餘し居りしと(東京)

馬山線猶ほ不通

馬山線進永三浪津間廿六日夜より減水し初めたるも廿七日朝に至り一部軌條面を露出したる箇所もあれど廿七日午前六時尙頻りに降雨中なれば未だ復舊の見込立たず(廿七日午前六時三浪津發電)

盜んで賣却

京城桂洞新龍伊(二四)弟新龍石(二〇)の兩名は共謀し四月六日貫鐵洞林應栗方にて玉洋木外二點(二圓)を窃取したるを手初めに本月十日頃迄に外十二軒にて衣類雜品等數十點を窃取し入質或は古物屋に賣却して買ひ喰ひをなし居たる所を鍾路署の刑事に引致さる

放火控訴棄却

忠北永同郡龍化面居鑛夫金聖學(二四)同朴重夏(二〇)の兩名が永同金山事務所に雇はれ從業中同事務所が鑛夫等に支拂ふべき賃金の停滯勝なるを怨み四月十七日夜元同事務所なりし空家に放火し外三棟を燒失するに至らしめたる放火事件は先頃公州地方法院にて各懲役五年の處分となりたるも服せず京城覆審法院に控訴中の處此程棄却となりたり

肋骨を折る

慶南山淸郡生北良面可谷里高守億妻金貴分(四四)同里大洞張南春(一七)の兩名は先頃同附近の畑中にて桑を摘みゐたる同里金吉權の長男先必(二〇)と口論を惹起し兩名は擧へたる長さ八尺餘の竹杵にて先必を亂打し肋骨を折り遂に死亡するに至らしめたるを此程其筋の探知する所となり屍體を解剖の結果死因判明し前記兩名は逮捕されたり

贋醫師の處刑

京城瑞麟洞居洋服洋支取長崎縣松浦郡富江村生れの類原頼母(三七)は以前仁川及び京城にて醫師の藥局生を勤めたる經驗あるより頃日生活に窮したる結果昨年十二月以降五月迄に西大門町一丁目池井某外數名を診察して各二三回乃至二十回も投藥し代金を受け取りたる爲め醫師規則違反として鍾路署にて罰金百圓の處分となりたり

大金を横領す

仁川宮町居住の兵庫縣加東郡社町生れの横山治三郎は大正三年四月より本年一月迄の間に賴母子講金二千百餘圓を横領し尙僞造の借用證書を以て三百三十餘圓を詐取したる事發覺し此程京城地方法院に於て懲役二年六箇月の處分となりたり

惡車夫

茨木縣結城郡結城町生れ渡邊國三郎(三一)は窃盜前科三犯を有する山者なるが本年五月中長野縣筑摩郡筑摩村丸山と詐稱し平壤署に於て人力車輓子の鑑札を受け車夫營業中同人は四月六日夜京城南山町二丁目築地組支店にて人力車母衣三枚價格三十圓を盜みたるを手始めに各町に於て多額の金品を窃取し同地に逃走したる事判明し其筋に捕れ六月廿六日平壤地方檢事局へ送らる

强盜は無期懲役

住所不定韓德五(三)は去る明治四十二年十二月二十八日强盜罪に依り全州支廳に於て懲役十五年に處せられ收監中の處其の後恩赦に依りたるにも拘らず本年五月二十八日夜井邑郡寶林面笠田里の寶林寺に押し入り同寺住職丁應三師に負傷せしめたる事發覺し其の筋の手に捕へられ全州法院支廳にて取調中の處今回無期懲役に處せられたり

雇人は曲者

平壤八千代町桑加商平方にては廿日の夜何者にか現金二百圓を窃取せられたるより其筋にては同家雇人𢎭宗河(二三)なる人を嫌疑者として二十四日引致し嚴しく訊問の結果遂に包み切れず自分の所爲なる事を逐一自狀したり

生活難

京城八判洞金姓女(三七)は某の妾となり十一歲を頭に三人の兒あり昨今夫は病氣に罹り仕送りをしてくれぬ爲め生活に窮し二十六日午後一時頃西四軒町陸軍用地の一隅にて苛性曹達を飲用して苦悶中を同四時頃通行人が發見し應急手當を加へ生命に別條なし

金牌受領 本舗香油

髮を黑く長く つやを出しさらくとして髮のやけを防ぐ妙

赤行嚢を奪ふ

栃木縣鹽谷郡喜連川郵便局遞送集配人大橋喜太郎(二七)は去る二十四日午前三時三十分氏家驛より赤行嚢其他の郵便物を大行嚢に入れ二里餘の山道を遞送中早乙女と稱する處に差掛りし際突然暗黑中より一名の兇漢現はれ棍棒を揮つて喜太郎を打倒し行嚢を奪ひ去れり犯人未だ縛に就かず(宇都宮)

賭博中

京城長谷川町居支那人孫德華(三三)同揚宏熊(二五)太平通二丁目居女楊金鳳(二三)等は十九日長谷川町にて賭博中を巡査に發見せられ何れも拘留處分となる

日本飛行家渡靑

支那革命黨の招聘に應じ民間飛行家高左右星野兩氏は二十六日午後東京發靑島に向へり(東京電話)

●島崎病院轉居 [illegible]に於て開業中なりし陸軍々醫正島崎[illegible]一氏は今回旭町一丁目の新築病院落成につき同地に轉居汎く一般患者の治療に應ずべし

灯ともごろ

▲木村鮮銀理事の一行が漢口で盛んな歡迎會に招れて宿に歸ると佐藤君が何處で何うしたことか足の裡に怪俄をして居る▲藥よ繃帶よと宿の女を呼んでも場所柄ではあり夜も更けては急の間に合はない▲ヤット木村理事の頓智で傷はウイスキーで洗つて其夜は濟んだ▲扨て木村さんの曰く佐藤は足で酒を呑む男なり

●新緩の爭奪戰 [illegible] したるが去る十九日革命軍より [illegible] 後七時 [illegible] 山梨縣山梨郡七里村下於曾原 [illegible] 區民等の間に [illegible] なり辛うじて鎭靜したり(東京)

天氣 (二十七日午後[illegible]) ▲位置 [illegible]海中部▲低氣壓の示度七[illegible]▲進行方向北東▲記事[illegible] ▲警戒區域 平安南北道の沿岸及び内陸

天氣 少雨後曇 ▲六月廿八日

出た完りた全 なる旅行案内代用 汽車時間表入の 夏季擴大號

日本一

大阪朝日毎日 觀相虎の巻 本邦新聞界の二雄 朝日毎日の比較 で兩新聞に親しむ者は悉く讀め

關羽 四好論 田尻子爵

ル氏の回答に接して…高橋主幹

商人としての大倉と森村…花井博士

空氣から三百萬圓…高松博士

世界第一大納涼 志賀重昂

米國成金物語…奥村卯兵衞

大阪の凸出人物…天魔鬼劍

高杉晋作 伊藤痴遊

大阪の歡樂境…松原通人

飛行機の源平時代…長岡中將

朝日記 明石の船別れ…猫遊軒伯遊

遊俠傳 黑手組の助六…錦城齋典山

御前口演 中山愛親卿…松林伯圓

小唄供養 小杉天外

本月[illegible]發賣 定價[illegible]九十五錢 送料二錢●半年分八十五錢●東京牛込南北社發行●振替東京一九四番

內科 小兒科 (入院隨意) 京城府龍山元町(憲兵隊側) 幾野醫院 電話二〇四番

料理の友 衞生と經濟號

七月號要目 ◎安價生活の研究 ◎上手な買物法の研究 ◎無駄のない生活法 ▲一皿五錢で出來るあつさりした西洋料理四種 ▲一人前四品が廿錢で出來る京の客向の御馳走 ▲上品で經濟な夏向の物 ▲美味で衞生的な豆腐料理六種 ▲お招きで喜ばれる夏の西洋料理十種 ▲平民的な晩酌の肴 ▲乾物で出來る乙なお料理 ◎食物の改良意見 ◎十名家の避暑意見 ◎安くて滋養に富む食物 ◎食の進む夏の一週間獻立 ◎氣のきいた茄子と胡瓜の料理 ◎誰にも出來るミルクセーキとアイスクリーム

新便法 一冊二十錢 大日本料理研究會

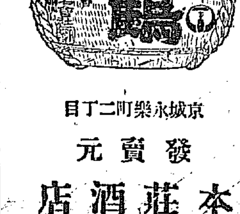
新築移轉御披露

今般業務擴張の爲め本町二丁目京城電氣會社前へ移轉仕候當分の間移轉御披露の爲めヒスイ特別割引にて販賣仕候間倍舊の御引立奉願上候

京城本町二丁目(京城電氣會社前)電話九九四番

骨董商 伊藤寶古堂

優等清酒



京城永樂町二丁目 發賣元 本莊酒店 電話六五四番 振替京城二〇六番

三和高麗燒は宮內省御用の光榮に浴したり 香爐、花瓶、香盒、茶器、菓子器其他種々

三和高麗燒 朝鮮特產海老の精

海老の精は風味佳良。滋養分豐富にして貯藏久しきに耐へ御土產として絕好の珍品に御座候

三和高麗燒元 海老の精發賣元 朝鮮鎭南浦 富田商會

●農民の大爭鬪 二千五百名……署より署長以下四十餘名の警官急行

●御盛徳を慕ひ奉りて

□婦人子供の献金□

△此の度明治天皇陛下と昭憲皇太后陛下との御靈をお祀り申し上げる爲に東京府下代々木の御料地に明治神宮と申すお宮が建てられることとなりました

△これに就きまして日本民族の總ての人々は兩陛下の御徳を慕ひ奉る眞心を以て隨分の献金を致して居ります

△殊に金百圓を献納した朝鮮の老寡婦や赤心を以て十錢のお金を納めた鮮人もありますが一般の婦人方は愛國婦人會朝鮮本部の手を通じて家族子供女中さんまで一緒に献金いたして居ります

△婦人會で取扱ふのは献金額拾錢以上五十錢以內で家族全體のは一錢以上十錢以內でよいのです

△最近にも慶尚南道の草溪と申す所の公立普通學校兒童百二十八名は學校の實習産物賣上げ金の中より一錢宛を集め合計金三圓二十八錢を送つて來ました

△只今本部で取纏め中の奉賛献金は京城内の婦人子供千五百餘名で金高四百餘圓に上つて居ます

●注意すべき統計

▽内地と朝鮮の小學校生徒の體格比較

○先日日の出小學校で生徒の身體檢査を行ひましたところ色々な注意すべき統計が現れて來ました

○先づ生徒の身長を内地のそれと比較すると七才の男で三尺五寸七分と内地の平均身長より五分ほど高くなり女でも亦三尺五寸三分で五分高くなつて居ます

○其の他十四歳までの男女生徒を比較すると總てに於て日の出小學校生徒の方が背丈が高いこととなります

○次に體量の點に於ても七才の男で四貫七百四十三匁、内地より八十三匁多く、女が四貫七百匁で二百匁重いとなります

○然るに胸圍の點に於ては總てに於て内地より劣り七歳の男で一尺七寸三分、内地のそれより五分ほど狹いのであります、また女生徒も一尺六寸八分で五分劣つて居ります

圖南大門に入る印度支那總督

□印度支那の寶庫…辯護士 加古貞太郎氏談□

◇佛領印度支那總督エー、ルーム氏は廿八日の夜九時南大門驛着の列車で入京されます

◇佛領印度支那とは什麼ところか地圖を披いて支那と馬來半島との間に介在し南北に長い國、東浦塞、交趾支那、安南、老撾、東京の五國が即ちそれであります

◇尤もその中安南を除いて交趾支那とは今でも佛蘭西の保護國であつて何れも立派な國王を有つて居ります

◇安南の首都ユエ(順化府)は國の海岸に在りますが日露戰爭當時バルチック艦隊の寄港して物議を醸したカムラン灣も此の國に在り升

◇始め佛領印度支那の總督府は南方米の出る西貢港に在つたのですが明治十七年清佛戰爭の時佛の軍隊が東京を占領して以來北の東京國紅河の畔今の河内に移しました

◇河内は佛の占領以來明治廿一年總督府移轉の記念大博覧會をも開催した土地で先づ東京の横濱とも申すべき海防港から汽車が四時間紅河に沿うた歐風の大都會であります

◇氣候は四季を通じて熱く私が往つた時は冬の十二月でありましたがそれでも室内で寒暖温度八十五六度夜も八十度内外を降りません

◇憖慶風土でありますから米は一年三四回穫れるし寶も年に十四五回出來、其他桑あり砂糖あり綿花あり鑛山あり茶あり珈琲あり殆ど自然の樂園とも稱すべき天惠多き土地であります

◇殊に老撾國の如きは人跡未到の大森林あり猛獸も居れば毒蛇も棲むが中にも楠チーク材の大密林があると噂されて居ります

◇土人は漢字を解し風俗は支那に倣つて居りますが農耕の風など殆んどわが朝鮮のむかしと同一であります

◇從來日本人は佛人から餘り歡迎されず從つて無限の寶庫に入ることも能きませんが何とか支那人に代つて同地の商權を獲たいものだと思ひます。

□硬いキヤラメル

めちや吉

『歩のない將棋は敗け將棋』と、盛んに高價な吐き散し喫笑して居た御仁人。相手の高飛び歩の頂食』と唱り、歩を打とうとすると不思議な事に先刻迄爛んで居た歩がない。不思議だ／＼と云ふうち、不圖氣が附いたのは午刻から頰張つて居た御茶菓子のミルクキヤラメル、堅い／＼と思ひ乍ら歩中で噛んで居たが若しや吐き出して見ると豈計らんや碁に交つて歩が一ツ。但た道理で馬鹿に硬いキヤラメルだと思つた

●背水畫會の催し

▲會て明治天皇陛下の御寫眞を謹寫した京城背水畫伯は今では朝鮮が第二の故郷として居る

▲背水畫伯は中央試驗所附近に在りますが今後益々基礎を固くしたい志望で背水畫會を催し一個年十二個月の月賦で作品を頒つこととなりました

●京畿道の學齡兒

京畿道内に在る大正四年度末現在の學齡兒童數は尋常小學を修むる男三千八百六十五名、女三千五百八十六名あり尚ほ尋常小學卒業のもの男五百八十三人、女四百三十七人あります就學期に遅せざるものは一萬八百五人ありさ

●愛國貯金組合

愛婦會有志の申合せ

愛國婦人會朝鮮本部にては此の度勤儉貯蓄の美風を涵養する爲めに京城在住の會員有志申し合せて愛國貯金組合を設け愛國貯金箱を配布することとなりました。貯金額は毎月金三十錢以上一般婦人方の無駄使ひを改めて貯金の勵めをいたし度いと言ふのであります

●無料勞働紹介

從來安價なる宿泊料にて勞働者の便を圖り來りし京城勞働宿泊所は經營難の爲め擴張して更に無料勞働紹介所を新設することとなりましたので永登浦度事有志佐渡氏より金十二圓、京城光川由次郎氏より金六圓七十錢大阪商野正義氏より金五圓の寄附金がありました

●追善寄附

仁川宮町の森本まさ子氏は亡妹つの氏の香奠返しを略し金五十圓を仁川小學校基本金として寄付しました

●最初の女理學士

三年前に東北大學へ入學した三女史の内黑田チカ子(三四)牧田らく子(三〇)の二人はいよ／＼今年卒業して理學士になり進んで大學院に入り一生を學術の研究に從はれる由

婦人界消息

△多田夫人(前李王職事務官)七月一日内地へ御立ちになります、夫人は京城婦人會役員として盡されましたので廿六日婦人會から記念品を贈られました

神社と教會とお寺

○本願寺(南山) 廿八日午前十時より御命日の説教同午後八時半よりの信友會には大幸布教監督の因明學の講義ある由

○曹洞宗別院(若草町) 廿八日午後八時より御逮夜の說教あり

―△會いろ／＼▽―

(青年會)南大門通京城基督教青年會にては廿八日午後四時半より今福角朝ぜり阪山瑪氏の歡迎會を催す由

□伊澤修二氏講演 廿八日午後三時半より南山町京城高等女學校にて開催

だいどころ その日／＼

回竹ぬき鮎の照焼 鮎のはらわたを竹串にて抜き出し……

番茶のあとさ

巴里の寒い冬の朝、私は多くの街路掃除の婦人を見ました

▲而も未明の薄暗いアスファルト道をホースを小脇に抱へて街路を洗ふ年若き婦人を見たとき軍國の婦人が健氣な決心の程に感じ入りました

▲英國でも佛蘭西でも壯丁は皆戰線に起つて居りますので後方勤務は皆纖弱い婦人の手に行はれて居ります(朝鮮府裁判長夫人談)

商況

東京株式特電

[illegible]

債券現物特電

[illegible]

公債直取引

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

朝鮮物産特電

[illegible]

雜報

●粗布値上げ (大阪綿布相場)

●比し割安 内地相場に

●京城正米

●二圓方引上げ

値百三十八圓を發表

●燐寸稍々氣直る

一眼先底入れ 建値以下

●石油漸く手堅し

三十二圓内外

●正米益强調

●精米徐々引締む

殆ど最低 十三圓二十錢

下關相場

●南大門の廻穀

仁川現物市場

生魚市場

仁川期米

▲二十七日前場 高の入電二節五十 二錢と高移 四十五錢と安移

▲上寄跡押す

市場零聞

▲展開未だし

場面は未だ展開の模樣

▲警報出づ

▲期米觀

▲大支障を來さん 正米買入に

●割高地なる仁川京城方面へ正米の輸送

受米決行 中限に向つて買擂

先限に向ひ買思惑

賣買米の制安

▲明治製煉株

北濱だより

小賣白米

仁川米豆取引所 二十七日の八月限

[illegible]

(利) 仲買店

(日) 仲買店 仁川米豆取引所仲買人

(マ) 廣澤正次郎 確實 迅速

田中金兵衛

株式名義書換停止公告

來ル七月一日ヨリ第十九期定時株主總會終了ノ日マテ株式名義書換ヲ停止ス

大正五年六月廿六日

株式會社 漢湖農工銀行

美職 只の五拾錢の資金で五拾圓以上の月收ある他に類なく男女誰も容易に出來る美術職業教授目下從業員募集中詳細郵券貳錢送れ

東京市麻布區龍土町五 帝國富之本社

急告

近來通商公報編纂部員又は同發行所員等種々の名稱を以て外務省通商局編纂弊社發行通商公報の購讀を勸誘し料金を詐取する者ある趣に候處弊社に於ては勸誘員等一切派出仕らず候に付購讀希望の御方は直接弊社へ御申込み相成度爲念此段急告仕候也

通商公報發行所 株式會社 啓成社

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候

株式會社 十八銀行京城支店 株式會社長崎貯蓄銀行代理店

京城黄金町 電話四二〇番・五八番 振替貯金口座京城八一四番

同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

比較は最良の撰擇法なり

サクラ正宗 サクラ正宗

京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番 振替京城五七番

腐敗し易き牛乳よりも 暑中は次亞燐が最も適當

次亞燐 大關 ○大中小瓶 試用の四種あり 發賣は各藥店

本舖 大阪道修町 小西久兵衛

風雨の征服者

完全無比 理想的雨衣

マントンイレコート

其他製品種々取揃有之候 見本付定價表御申越次第呈送

東京神田區東龍閑町九 島村友三郎商店 (電話長田一二六 振替一五九八)

酒界ノ アラハルゼ マルトシ

□香氣の馥郁たる事 □風味の醇美なる事 □色澤の鮮麗なる事

紳士 □名聲の如く □典雅なる如く □擧止の如し

貴顯紳士の御用料として攝津灘に於て特別釀造したる完全優等の美酒に御座候

發賣元 京城本町一丁目 佐藤牧商店 電話二九番 振替京城二九番

龍山漢江通 佐藤牧支店 (電話四二九番)

大改善せる 美滿津製ラケット。

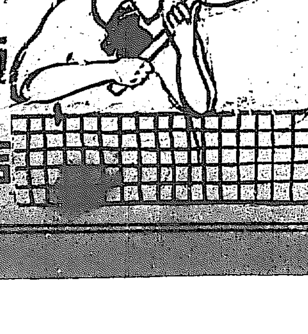
極めて工合好き而かも雅致ある用材を豐富に貯藏し居る爲め今後の發賣品は其の重量各位の御好み次第也。バランスの工合最も良好にして且つ丈夫に美術的に製作せらる。敢て各位の御愛用を祈る。

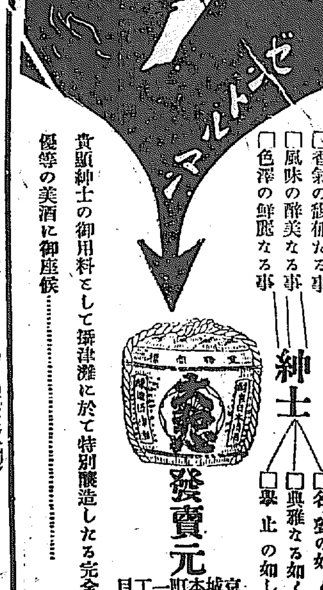
亦先般發賣のレギユレーシヨンボール(硬球)は國來内外人間に高評を博し居れば此れもラケツトと共に御愛用を給はらんことを希願ふ。

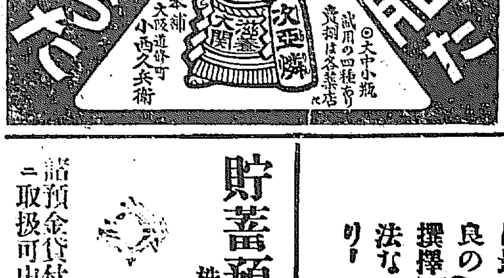
定價表は御申越次第發送致します。

MIMATSU & CO. TRADE MM MARK TOKIO. JAPAN.

東京市本郷區本郷五丁目 美滿津商店 電話下谷八四五 振替口座東京七六〇四







宮本武藏

第八十二回　桃川如燕口記　浪上義三郎速演

藤島右門は娘を見て　又『マア〳〵無事で宜かつた』娘『お父さん、此のお方樣は妾を助けて下すつた御恩人で何うぞお禮を申して下さい』と聞いて右門は男を見て驚ろいた、何んで物好に此んな男を引張つて來たか、客夫ではないかと思ひながら、氣を附けて見ると娘の著物を著て居るが餘り此の近所では見馴れない人ゆゑ不審ながら　父『貴郎ですか　武『ヱ、少々他聞を憚ることゆへ、御主人に内々でお話しをいたしたい』そこで奥へお連れ申して段々話しを聽いて見ると　武『拙者は小笠原右近將監の家來當時浪人の身の上實は斯う〳〵いふ災難に逢ひましたといふ、何がさて高名な宮本武藏先生のことなれば　右『委細承知いたしました、其れは必定御難儀でございましたらう、併し此の土地の醫師を頼んで萬一城内へ知れるやうな事があつてはなりませんから、大阪へ行て良い醫者を頼んで參りませうか　武『其では私が手紙を認めませうと毛利玄達、大藏院宮内の兩名へ宛て依頼状を書く、之を携へて大阪へ參り、玄達宮内の兩人に面會して頼み入ると　玄『其は全く斯ないふお方だから何分宜しくお世話して下さるやうに』と頼む、兎も角御同行をと兩人は姫路へ來て武藏先生を見舞ひ、兩人して幾許の金子を宮本先生の小遣にとて差出き御介抱をと頼んで兩人は大阪へ立歸つた、此方は固より疑ぬ所へ兩人から頼まれて見れば何以て安心して藤島大宮司方にて宮本を懇ろに手當をしてやる、丁度八十日許り逗留して居る内にスッカリ舊の通りの身體になつたソコでいよ〳〵出立といふ時に衣類は勿論新刀でこそあれ大村彌正左衛門加卜の大小を宮本に呉れたから萬々禮を述べて高井田を出立て大阪へ參り、毛利玄達、大藏院宮内に面會いたし萬端禮を述べて後岸柳の樣子を聞て見ると玄達が　玄『左樣で拙者は逢いは致しませぬが岸柳は東海道を江戸表へ下つたといふことでございますに依つて、是から江戸表へお出でなすつたら、必らず岸柳に逢ひませう　武『ア、左樣か、其では東海道を下り江戸表を探して居なければ、今度は中仙道を上つて來るであらうから、中仙道を下つたら合はうか』と云つて中仙道を下つて上州へ來た、道中別にお話しもなく、上州群馬郡高崎へ來て本町の上州屋と云ふ旅籠屋へ武藏先生お泊んなすつたデ最う肥後の熊本に居た割合から考へると、上州高崎まで來ると御主人のお屋敷へ來たも同樣なものゆへ、安心して御酒を召上りながら過去將來の事など考へて居られた、所へ階下からガヤ〳〵七八人上つて來たのは、江戸ッ子の妙義榛名へ參詣を爲やうといふ連中、大な聲をして『オイ〳〵德さん、亂暴だ〳〵　德『オイ來た○到底モウ上州高崎へ來ちやア旨へ酒は飲めねへよ、糀臭くつてピン〳〵頭へ上つてチャー〳〵小便ばかり出て爲やうがありやアしない魚類だつて江戸から拙鹽をして來るンだから鹽ッ辛くて喰へやアしないが、何處へ往つても變らないのは鷄卵だ、生鷄卵でも吩咐て一杯飲むこにしやうぢやアないか　○『ツム、其奴ア宜からう』とワー〳〵云つて居る、宮本先生は久振で江戸ッ子の言詞を聽いて　武『熊本邊りに居ては往かナカ〳〵江戸の者に逢う譯には往かないが、何處へ行つても負けない氣象は江戸の者だ、職人も居れば商人も居る樣子、其を看物にチビ〳〵御酒を上つて居なさると『往還御用』と記したる提灯を點けて宿役人が二人這入つて來る　役『ハイ御免下さい　七八人の面々が　○『ハイお出、何んだい　役『ヱ、宿帳を附ます　○『成程何處へ往つても樣つて居ろな、附てお呉んなさい、ヱ、皆な江戸ッ子でごぜへます　役『江戸は何方で　○『江戸は日本橋で　役『日本橋は何方で　○『何處でも構はねへ、お前さんの方で宜いやうに、成たけ大きな家にして置てお呉んなさい　役『ヱー御冗談仰つしやつては往けません、切望眞正のことを願ひます　○『アハ、、、然うか……』

皮膚科　皮膚病　黴毒病　痳病　膀胱病　生殖器　機能障碍　入院隨意（診察夜九時迄）　日曜祭日午後二時迄　京城明治町二丁目（元曙町）　佐藤醫院（電話一一七三番）

婦人科　産科　京城壽町四一　二宮醫院　醫學士　二宮亮吉　電話一二〇一番

六月廿九日九星
暦五月廿九日丁酉
本命三碧東平先負

▲三碧　提切な盛ゆ反恨を受けんとす注意あるべし　●見合　坤の方は吉　晴鋼東　▲四綠　好運の日轉居入學金談名弘求職建築出漁婚禮養子女を迎ろ宜　▲五黄　窮破せられて迷惑する事有る日　萬吉　▲六白　盛議は妨なし　新の日新事手　▲七赤　はん　[illegible]

演藝案内

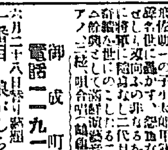
大正館　櫻井町　電話八七三　日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　六月二十八日より特別大興行　世界的大寫眞『ハート』の3　[illegible]

壽座　本町　電話五七八　付我廼家蝶々會　四日目替狂言　一、悟れ　二、亂拍　三、開場　[illegible]

浪花館　明治町　電話二六〇番　お馴染の赤松獨演會　[illegible]

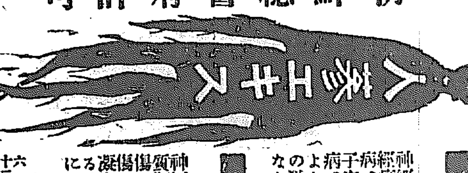
黄金館　電話一八五二　二六三七（階上）（階下）　世界的大冒險大探偵大活劇『名金』　[illegible]

御成座　御成町　電話二九一　六月二十八日替り新狂言　一番目　浪がしら　二番目　喜劇戀の競爭　全十一場　[illegible]



治ッタリ！　多年困つた眼病も　大學目薬　を點眼して立派に　治ッタリ！

朝鮮總督府許可



人参エキス　滋養藥菓　朝鮮名産一切　人參直引　製造發賣元　大販賣所　京城本町一丁目　津村兄弟商會　電話一四六八　振替京城三五〇二番

特約店　京城本町二丁目　北島藥房　電話七六一番　京城本町二丁目　古城藥房　電話一〇二番　京城南大門通五丁目　廣岡藥房　電話二〇六一番

定價　二十五錢　六十錢　一圓二十錢　[illegible]

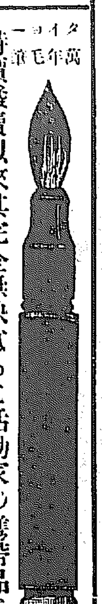
■内用精　効能　神經衰弱、神經痛、老衰、痳病、胸病、痔病、子宮病、胃腸病、營養不良より起る諸病の滋養強壯劑なり

■外用精　効能　神經痛、僂麻質斯、火傷、凍傷、切傷、打撲傷、腫物、肩の凝、虫に螫れたる時筋の張等によし

樋屋　小兒良藥　奇應丸　專治　[Korean text]　소아의실신간질급발열증　等に奇効神の如し　到る處の藥店に有り　樋屋合資會社　大阪天滿橋

村井弦齊先生發見　胃腸病胃痙妙藥　タラコン湯　需用激增工場新設　藥効確實診療所始　定價一週分一圓　二週分一圓九十錢（送料二十錢）　東京小石川下富坂町　（移轉）無量壽藥園　振替東京二〇〇二

本院　京城支那領事館前　電話一五四一番　分院　龍山鶴壽温泉　電話一一一番　診察　京城午前八時至正午　龍山午後一時至六時　中村耳鼻咽喉科醫院



萬年毛筆　イタヨー

特價發賣以來其完全無缺なると活動家の携帶品として至便なる點に於て到る處最高評を博し豫期以上の好成績を收たれば聊か謝意を表する爲跡五千本を限り特價六十四錢を以て發賣仕候條此の際引續き御用命ありたし

京城日報社代理部　振替貯金口座京城三〇〇番

御園の露　金十五錢　金五十錢

顔に脂多く、白粉はしり、色艶常に惡く吹出物などにお困りの方は化粧水御園の露を御常用なさいませ。皮膚ひきしまり色麗はしく見違へる樣に美しくなります

御園の露は一名を御園とき水と申して御園白粉には御園固煉白粉を使ひ頃の薄さに溶きのばすに用ひる兩用の化粧水です

本舗　伊東胡蝶園　發賣元　丸見屋商店　(66)

處方を公開し内容を明示せる◎ミツワ家庭藥

◎ミツワ解熱錠

（主効）感冒、レウマチス、神經痛の解熱並鎭痛

製劑責任者　藥學士　河西蔵一

三十錠入	參拾五錢
百錠入	壹圓
三百錠入	參圓

◎ミツワ家庭藥の特長

一、處方を公開し内容を明示す。
二、處方的確にして奏効顯著なり。
三、性質劇烈ならず中毒作用等の危險更に無し。
四、藥品純良にして効力一定不變なり。
五、製劑精確にして變質の憂なし。
六、容器完全にして風化潮解することなし。
七、包裝嚴重にして携帶至便なり。
八、内用藥は總て錠劑なれば服用容易にして秤る煎ずる等の煩なし。
九、種類三十餘ありて通常起り易き疾病に對し汎く應用せらる。
十、價格低廉にして永く保存に耐ふ。

ミツワ解熱錠は効力確實不變にして、而かも服用後惡心嘔吐、消化障碍、體力減退等の副作用を呈せざるを以て、發賣以降多大の賞讃を博し日を逐ふて其の需要を增加せるに近時藥品の輸入杜絶し、就中解熱劑は總て拂底を告げたる結果、本錠の需要愈激增し各方面より蝟集滯積せる注文に追はれ、供給の數量一時は稍不足の状態に在りしも爾來製造の規模を擴張し殊に原料たる純良藥品の産出に努め、今や遺憾なく大方の高需に應じ得るに到れり、蓋し斯くの如く需要の增大せるは一に本錠の効力卓絶なるを證するもの、江湖諸彦の信頼して服用せられんことを切望す。

ミツワ石鹸　◎　肝油ドロップス

東京市日本橋區橘町四丁目　丸見屋商店　振替東京七一〇番　電話浪花三〇五〇番　營業部　特四八〇四番　四四九四番

京城日報
廿八日朝刊(夕刊と合せて八頁)
發行兼編輯人 靑田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

京城日報 米墨事件

北米合衆國は、今日大統領改選問題にて、政治界多忙を極むるに際して、墨其古問題の紛糾の爲めに、混雜を見ると甚だし、此上若し墨其古問題を取りて、政爭の利器と爲すもののあらば、更に其厄介を增さざる可らずして、同國の政治界は、今や天下の耳目を集中するの姿あり。

近年北米合衆國は甚だ墨其古問題の爲めに苦めり。初めポルヒリヲ、ヂアズ大統領たるの間、墨國政府に排米政策を取るといふ非難あり。米國政治家中には、ヂアズを排斥するときは、其利權を伸張し得べしと爲すもの多かりしに、事實は之に反して、革命以後マデロ政府の如きは純親米派を以て組織したれども、米國のために何等の利するところなく、ウヰルタ政府は排米派なりし爲め、米國政府は之を承認せず、今日のカランザ政府は、本來親米派なるに拘はらず、昨年來排米政策を取り、米且ヴイラ一派の暴徒を驅りて、墨國內に入るや、忽ち其の撤退を强要し、遂に此度の如き衝突を見るに至る。且革命以來、墨國內は常に三四勢力の割據する所となり、何人が政府を組織するも、僅かに首府と其附近とを支配するに止り、我帝國本土に四倍半ほどの廣大の地は、常に無政府狀態の下にあり。今にして之を顧みれば、北米合衆國の利權が、墨國內に伸張し、資本を投じ、人民を移し、鐵道鑛山其他の事業を興し得たるは則ちポルヒリヲ、ヂアズ時代にして、其後の事は一として見るに足るものなし。

初め米國人以爲らく、墨國內に利權を伸張するの要は、親米派なる者を擁護して、政局に立たしむるにありと、然れども墨其古に、眞の親米派なるものありや、墨國由來黨爭熾盛なる處なり、其の牛李相爭ふに當りて、互に其黨同を相援し、且苟も反對者を倒すべくんば、何ものに縋るをも辭せざるかはりに、一たび其目的を達するときは復た其庇護する處を顧みず、且其の群衆に媚ぶる排米を唱ふるより、便なるはなく、親米主義に依りて、政局に立てるもの、常に排米主義に依りて其權勢を保たむとす、前のヂアズ既に然り、今日のカランザ亦同樣なり。

且米國は强大天下に雄視すといふも、其陸軍力は未だ甚だ恃むに足らず、近年數々墨其古問題に關聯して、其の積極的處置に出る能はざりしは、則ち主として其陸軍の力の十分ならざるが爲めなり。昨年來民主黨政府の、對墨政策の軟弱を非難するもの多く、或は此度の大統領選擧に於て、之を取りて以て、共和黨の一旗幟と爲すとあるべしと雖も、彼が如き陸軍力を以てしては、共和黨をして政局に立たしむるも亦必ずしも積極的なる能はざるは智者を得ずして、而して後に知るを要せざる所也。

金剛山寫生 平福百穗

…は極めて靜寂な仙境であつた、排…朝鮮人の女人の群れが手を擧げ地に俯して、四方の峰巒を合掌禮拜するを見た。

大阪より

▲戰後亞鉛業大に勃興せるが戰前には倫敦の亞鉛相場二十二磅百斤十三圓五十錢內外なりしに昨年十二月には百十五磅百斤六十九圓に暴騰し今年二月には百五磅を唱へ昨今六十五磅を唱へ居れり是は當然の成行にて平和到來せば亞鉛は暴落を來し往年の二十二三磅を唱ふるに至るべしされど然るに內地亞鉛業は戰前に比し數倍の精煉能力を具備し尙其の計畫を進捗せしめ居るものあり

▲戰前大阪亞鉛鑛業は一箇月四百噸三井は三池にて月二百噸の精煉をなし之に地流し亞鉛を合せて內地の需要に應じ平時日本內地の需要は民間四百噸海陸軍六百噸位なりしに戰後陸軍は露國の軍需品製造に巨額の需要を來し民間亦各方面に需要の增加を見更に英露の注文頻出するより遂に民間にては支那厘錢を原料とし小規模の亞鉛精煉を企つる者續出し大阪市內にても六十噸以上に達せり

▲又大阪亞鉛は擴張して一箇月千七百噸の製造能力を具備し三井の三池製煉所も擴張して六百噸以上を製造するに至りたれば大阪に於ける小規模の產額合計一箇月四百噸にて現在日本の製產月額二千五百噸と見て戰前の二倍を超ゆ尙神戶鈴木商店は大里と德山にて精煉に着手し製品は遠からず市場に現はるべく久原鑛業の兵庫縣下に於ける亞鉛製煉計畫も今年中に完成すべく最近日本亞鉛會社起りたれば戰後の日本亞鉛精煉は必ず競爭を見るに至るべし

▲然るに平時內地の需要は千噸內外なれば勢ひ海外輸出に努めざる可らず殊に原料亞鉛鑛の輸入關係等より戰後に於て戰前の相場に引返す場合困難に遭遇すべければ當業者は今日に於て戰後の準備を整へ充分覺悟するの必要あり(大阪支局)

城壁文學

(第三)漢陽宮闕の築造(二)

小田省吾

附 景福宮沿革

以上は準備であるが、愈々宗廟、宮闕の營造に着手したのは三年十月遷都の後であつて、十一月三日に始めて工作局を設け、次で十二月三日には恭しく皇天后土並に山川の神祇を祭り興復の事を告げて諸神の加護を祈り、翌四日を以て起工した。斯くて該工事は意外に進捗し、翌四年九月には太廟及び新宮成を告ぐるに至つたから起工の時より算へて僅かに十箇月の間に、太廟は成就したのである。尤も前年九月新都宮闕造成都監が置かれてから同判事沈德符、金湊の二人は漢陽に在つて經營を監督したのであるが夫れから一箇年である。倘此の宮闕成つて鄭道傳命を受け、詩經の語を選んで景福宮と命名したのである。然るに茲に一つの問題となるのは、●太祖創造の景福宮は何時まで存在せしか●である。所謂補文獻備考を見ると、宮室の部に、

『一景福宮、太祖三年建つ(中略)明宗八年火あり思政殿以南皆燼く。九年重修す。宣祖二十五年(我文祿元年)燹廢す。今上(李太王)二年重建す。五年(明治元年)成る』とある。一應明瞭な樣であるが此の記事は全部正確でない。思政殿は即ち便殿であつて、景福宮の正殿たる勤政殿は其の南に在るから此の記事を眞とすれば、景福宮の肝心な部分は太祖の四年から明宗の八年まで百五十九年間存在したが、不幸にして明宗八年に火災のため燒盡したから、宣祖の時の王宮は明宗九年に重建したものであつた事となる。併し實錄に據ると之は大きな誤記であつて、同火災の記事は實錄に隨分詳細に載せられ、其の時灰燼となつたのは康寧殿(王の寢殿)思政殿(便殿)及び欽敬閣(康寧殿の西に在り)と明記せられ火災の原因も康寧殿の溫突修理の際火を謹まざりしによると識されてある。故に文獻備考の『思政殿以南』は寧ろ『思政殿以北』の誤りで、正殿たる勤政殿は幸に祝融の災を免れたのであるから、宣祖の二十五年まで百九十八年間存在したのは大部分太祖の時のものであるといはねばならぬ。文祿役に兵燹に罹つたのは即ち是である。

南北支那經濟觀(2)

木村鮮銀理事觀察談

□政治論の焦點北京—萬壽山—袁氏の宮殿—骨董借款—在北京日本人の態度—日支合辦事業—日支金融機關の連絡—現在の鐵道

▽萬壽山一遊 天津を去て北京に行き、最初の日が日曜なりし故萬壽山見物に出掛けた、北京を距る二里の郊外にて、其處に行く道は石を舖き兩側には並木を植えなたる大路である。萬壽山は流石に莊林の風趣幽邃にして輪奐の美且壯なるに驚くべきものあり。西太后の當時が偲ばれ懷舊の情を催ほした。又袁世凱氏の宮殿も見たが、此の宮殿は開放され、當時未だ袁氏存生の折であり、即位式のために修繕中であつた。修繕費は四五百萬圓も要する筈だと聞いたが、此宮殿は左程驚くべきものでも無かつた。但だ清朝時代の骨董品の奉天より此處に移されたる物が庫中に一杯收められ、其一部丈けでも迚も京城の博物館などの比ではない。大理石の植木鉢に造花を栽し、其の花は或は珊瑚もあり、或は翡翠もあり、驚くべき寶物の數を知らぬ。周時代の銅器など實に垂涎を禁じ能はぬものがある。●斯くて是等の骨董品を擔保に所謂骨董借款問題も起つた程で、擔保としての價値は非常なものである。

▽北京の日本人 北京の市中では到處政治問題の話で持ち切りの有樣であつた。何と云つても北京は支那の政治的中心である故に、在留日本人の擧措進退は最も愼重の注意を要する筈であるが、日本人間にも當時排袁派と親袁派とがあつて、此の二派が常に犬猿も啻ならず、互に排擠し合つて居たのは、日本の內情を故ら支那人及び列國人に知らせるやうで實に見つともないと思つた。

▽梁楊二氏に會見 北京で梁士詒、楊子琦兩氏に會見した。梁士詒は交通銀行の總裁で支那第一流の財政家である、楊子琦は中日實業の重役である。會見の時には三井物產の兒玉氏(兒玉伯の令弟)に通譯の勞を煩つた。楊子琦に對し自分は『日支合辦事業がどうも巧く行かぬは困つたもので何卒支那側でも充分に奮發して貰ひたい』と希望し、楊氏も今後は兩國の爲めに大に活動すべき旨を熱心に語つて居た。自分は又『支那では政治家が會社などの重役になつて弊害はないかしら』と問ふた所、彼は大して弊害も認めないと答へた。楊氏は六十歲位の痩身の人だが確かりした所があり、梁氏は年齡五十六七歲、肥滿の質で眼光銳く言語暢快、彼との談話の骨子は何とかして日支金融機關の連絡をつけたいが意見は如何と自分の問に對し彼は『日本の銀行を利用したいと思つて居るけれども、日本の爲替は歐米の六十日乃至九十日と云ふ長い通期間なるに比して短かいので困る』と云つて居た。彼は兌換停止の際も長でもあるに拘らず世事については何處に風が吹くと云ふ顏をして居た。

▽支那の鐵道 北京で支那の鐵道に關して最近の狀況を調べた、支那の鐵道は滿洲を含み豫定線を入れて六千三百哩、現在開通せるは滿洲を除き四千哩に達して居る。歐洲戰亂以來豫定線の工事は中止せられた。●鐵道の經營に關係して居る外人は日本人僅か二名を除き他は總て外國人である。從て借款の關係上日本以外の外國人の利權が重んぜられて居る、尤も外人が支那の鐵道に注意を拂ふ事は非常なものである。

京日詩壇

○野居書情 成田 魯石

不著衣冠絕送迎。朝朝夢醒帳吾情。榮花縱有黃金色。園中無客說功名。

不關富貴又功名。雨讀晴耕道無情。一卷騷經一頭顰。笑看喬木有遷鶯。

評曰 遙情逸致、使人景慕

○重三小集 西田 白陰

亂友相呼上雅筵。一觴一詠鬯吟肩。功名富貴君休說。世外風流身欲仙。

評曰 神味清絕

○同上 栗原 華陽

桃已潮紅柳展青。同人禊後醉江亭。幽情不讓山陰興。一詠一觴詩酒馨。

不似營營紘香傲心。携題來會漢江潯。桃花人面競妍處。詩興深于春水深。

評曰 風流閑雅、情味不盡

日報歌壇

□醒めたる夢 梁山 繁樹

さもなきに君罵りぬこれやこの妬み心のさてもかなしき

水の如淡きにやがて倦みもせむ妬むことをば知らぬ子の戀

今も猶その黑かみのかをりもて吾はをひかむとするが可笑しさ

あなをかしかゝる人をも今日までは吾身忘れて戀渡りけむ

夢さめぬさめたる夢は美しと呆け聲してつぶやくは誰ぞ

京日案內

普通(一回前金三十錢無割引 匿名一回毎に金五錢增)
番外(一回前金六十錢無割引 匿名一回毎に金五錢增)
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず

普通

有給社員募集 確實なる保證人有者數名募集希望者は履歷書持參前九時迄本人來談本町二シンガー會社 893

▼修養立志 ▼自己の爲めに四十錢 ▼西國立志篇三十五錢 320

京城本町 振二六二一 ◎ウツホヤ書店

◎婦人記者 希望者は自筆の履歷書携帶本人來談あれ ▲大陸婦人界社 896

京城大平通二

◎讀店 京城本町 有利確實輕便商業 ▲希望者は電話二〇二五番 895

◎地方出張員募集 但經驗用不保證人要す(姓名在社) 898

◎店員入用 但し十五歲より廿歲迄確實なる要保證人本人來談 市內に京城旭町一丁目 東西藥房 890

▼古本○雜誌○御賣却は信用ある ▲本町二○電二五二七○ウツホヤ書店 320

▼貸金 月收の御方は信用其他擔保等 ▲抵利一秘密融通 電話二七七二 京城吉野町一丁目百廿七番地 皆川 884

◎古本高價買入 際堂の勉强是非御試驗を乞御報即刻參上 ▲京城本町四丁目 電話二七八一番 群書堂 348

椿もち 文扁堂 870

番外

職工募集 三名入用希望者は本人來談あれ但し市內に要保證人當人腕次第高給を給す △京城南大門通り三丁目 ツヅキ自轉車商會

新築移轉 嶋崎病院 京城旭町一丁目(京城府廳裏通) 電話二七三六番 入院隨意 診察夜九時迄 888

◎京城春川間 行自働車 貸金片道四圓 京城春川間毎日午前八時出發 ◎南大門通一丁目 廣橋自働車組 主務 金正淵 電話二一九番 322

賣家 但し解き除けを要す ▲瓦葺二階建四戶住一棟 ▲同二戶住一棟 ▲同一戶住二棟あり 本町二丁目 電話四七六番 關商店 886

◎鑛山測量開業 土木水利測量設計製圖調査 忠州竹內鑛務所 868

農產種子卸問屋 △東京千住 鈕寶定價表申込次第郵送す 在保木間 種甚商店 850

移轉 今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉仕候 萬祥堂印房 京城南大門通三丁目(靑木堂隣) 電話一九九五 879

京城春川間 乘合自働車 貸金片道四圓 ◎京城發午前八時 ◎春川發午前九時 京城水標橋通り 電話武壹參八番 京春自働車商會 支配人 松田壽男 50

●はねつぎうちみくじき等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 334

恩給年金類 長期低利立替 短期保險不用 市內土地擔保低利金融す 京城南大門外(舊御成町) 山口屋 339

株 有利にして確實なる現株賣物あり ◎公債株 ◎現物問屋 京城本町二丁目 電話九三九 田中友吉商店 357

本店新製 クリーム キヤラメル 大十錢 小五錢 元祖 パン 木村屋支店 京城明治町 電話二八七 360

白韓書房 新版報告
村山龜齡著 平家詩史 定價二圓八十錢 送料十八錢
幸田露伴著 細川劇 修省論 定價一圓 送料八錢
少年通俗少年百譚 教育會 歷史の庫 定價一圓五十五錢 送料十二錢
英明著 うた姿 定價一圓半 送料十二錢
朝鮮總督府編纂 朝鮮林野分布圖 定價三圓 送料十二錢
京城南大門通二丁目 電話一四五・二二七番 朝鮮振替口座一二一五番

(忽三版) 一坪でも出來る 四季家庭園藝
本書は園藝界の重鎭たる著者が十數年の經驗を下した栽培法を素人にても分り易く說たもので一坪の土地一鉢の鉢へさる花が見られる栽培法をいろいろな種の苗の育て方 ▼發賣元 東京神田錦町三の六 振替東京八七八七番
附錄十二ヶ月花曆 年中栽培早見表
培法 苗の育て方
平和出版社
滿鮮發賣元 京城 振替京城二五七三番 大阪屋號

(忽三版) 現代浮世繪の大家 鰭崎英朋先生著並裝幀 泉鏡花先生新作小唄入 柳川春葉先生序文
英朋畫集 うた姿
菊判和紙綴箱入美本挿畫木版二百五十餘口繪寫眞紙極彩色密畫 價一圓五十錢送料八錢
艷麗無比幾度視ても見飽きのせぬ美しい小唄繪本 情趣ある粹な小唄に因みて描ける氏の最も得意とせらるゝ美人畫の佳作を集めたるもの夏の好讀物として本書を薦む
●好評三版『はやり唄と小唄』 流行唄と小唄の粹を集たるもの 興味ある民謠集
大隈伯爵序 酒井忠興伯爵著

日本セメント
新荷着 在庫品豐富
京城南大門通五丁目
日本セメント株式會社 京城出張所 電話五八五番

◎會議所法施行規則

商業會議所の經費に關する制限並に會議所法施行規則同議員選擧規則改正の件は二十七日官報にて公布七月一日より實施せらるゝ旨二十七日官報を以て公布せらる(東京特電)

◎別當任免發表

東伏見宮別當桂潛太郎氏辭表提出中の處聽許され其の後任左の如く任命されたり(東京特電)

海軍中將從四位勳一等功三級 川島令次郎
任別當(二等)
東伏見宮附別當 桂潛太郎
兼宮中顧問官
依願免本官

◎川島中將豫備

二十七日附東伏見宮附別當被仰付たる川島海軍中將は左の如く豫備役被仰付たり(東京特電)

海軍中將 川島令次郎
豫備役被仰付

◎福田中將出發

朝鮮經由總督を訪問露佛戰線觀察の爲め軍事上重要任務を有せる參謀本部附福田雅太郎氏は隨員同伴二十八日午後四時東京驛出發途中京城に寺內總督を訪問露國に赴く由(東京特電)

◎ル總督下關發

佛領印度支那總督ルーム氏一行六名は二十七日下關著同夜發の聯絡船にて渡鮮の筈(門司特電)

◎天寶山銀銅鑛

天寶山銀銅鑛は尙ほ未だ設備中に屬し經營方法の如き確立の域に達せず近かく有力なる重役の視察を俟つて經營の大方針を決定する由なり而も目下同鑛に從事する人員は日本人二十四名鮮支人の勞働者七十餘名に過ぎざるが同鑛の影響は忽ち附近の地價に及ぼし同鑛山一里以外の地區は地價の昂騰を見越して買收したる氣早連を生じ附近の地價に多少の變動を呈し居れり(間島)

◎未墾地開墾趨勢

一時暢旺したる未墾地開墾の出願も近時漸減し殊に面積廣大のもの殆んど跡を絕つに至りしがこは未墾地開墾熱の冷却と云はんより既に開墾後の見込み確實なる土地は概ね開拓に着手し今日にては咸鏡南北江原三道に於ける交通不便の內部原野を除けば南鮮中鮮及び西鮮地方は殆んど開墾され若くは開墾されんとしつゝあり唯海岸に於ける干潟地は之れを隨所に發見する由なるも何分干潟地は海水の浸犯に備ふる堤防と其の土地の含有する鹽分の除去に多年を要し比較的多額の資金と加ふるに早急の成功を望み難きに付其の開鑿には一般事業家も多くの望みを繫ぎ居らざるものゝ如しと

◎葉煙草の病害

本年の葉煙草は播種後降雨適順にして各地とも生育頗る良好なりしも爾來斷續的降雨ありて苗床濕潤に過ぐるの虞れありしが忠北管內に於ては過般の豪雨後果然在來種に赤星病發生し漸次漫延の兆あるより當局にては當業者を督勵し其處置に努めつゝあり又た同管內の黃色煙草も出水の爲め多少被害ありしもの丶如くなるも目下は各地とも概ね未だ移植せず苗床に於て生育中なれば其處置は比較的容易なるが故に今後降雨尙ほ繼續せば損害或は大ならむも天候適順を得ば左して憂ふるに足らず全北管內の如きは水害甚だしかりしに拘らず葉煙草の成育は極めて良好にて目下の處にては何等の被害を見ずと

◎昨年印紙收入

大正四年度中に於ける收入印紙の收入額は合計二百十萬五千八百三十九圓餘にして外に四十六圓强の收得あり、之を大正三年度の收入額百九十四萬四千七百六十九圓餘、外四十圓强に比すれば十六萬一千七十二圓の增加を示せり

◎淸會線工事著手

過般入札確定せる淸會線第四、五工區は何れも來月より工事に著手する事となり請負者は目下共れぐ\準備中なるが兩工區設計の概要は第四工區全距離鏡山間七哩三十鎖は普通路盤工事の外昌斗嶺に隧道一箇所(千百二呎)ある橋梁は總て十九、延長千八百八十七呎にして最も大なるは鏡山川橋梁九百八十二呎あり第五工區鏡山會寧間十一哩は鏡山より碧城面と會寧面との境界線に至る六哩は線路總て山麓を走るを以て岩石の切崩多く難工區にして其區間には中島隧道(千三百六十呎)兎岩隧道(千四百五十二呎)あり全工區中の橋梁は十九、延長八百六十五呎あり而して兩工區間に建設さるべき停車場は古豐山に與由停車場碧城面に中島停車場及び會寧停車場の三箇所にて兩工區竣功期は大正六年十月也と

◎琿春貿易近況

朝鮮對琿春貿易經路は雄基下汝坪間の國道が修築せられざる大正二年夏頃までは雄基より阿吾地を經て新阿山に至るの經路を執り來りたるが二年春雄基下汝坪間の國道修築せられて以來は距離の短縮と對岸大磐嶺の通過避遍の關係より貿易經路は全然之に歸し亦た新阿山を通過するものなきに至りたるが昨秋洪水の結果雄基下汝坪間の道路破潰さるゝに及んで間島通路は殆んど水路豆滿江舟運に移り昨年秋季の琿春貿易は全く帆船の手に歸したり其後雄基下汝坪道路の改修さるゝに從つて此貿易通路に復舊して今日に及びたり然るに本月上旬より朝鮮沿岸航路を西水羅に延航せらるゝに及んで復又貿易經路變更の傾向を示し西水羅土里間の營林廠輕鐵を利用して土里より琿春迄の水運輸送を開始するの計畫をなし目下準備中なりと云ふが豆滿江の水運は漸次利用さるゝもの丶如し

◎移民應募狀況

春來募集中の東拓第七回移民申込數は目下の所三百二十戶に達し之れを昨年に比すれば多數なるも尙ほ豫定數に對し一千二百戶の殘數を剩し果して九月末迄に全數の申込みを見得るや疑問なれど每回九月の締切間際に擡まりたる應募あるに付前途必らずしも悲觀を要すまじと尙ほ會社に對する移民希望者の問ひ合はせは每日三四十通一箇月平均千通を下らざる多數に上る由

◎在監囚徒增加

朝鮮各監獄在監囚徒は昨年十二月に於て恩赦發令等の結果頗る減少し一時九千人臺に減じゐたるも其後罪囚漸增して最近一萬一千人に上り此の狀勢を持續せば明年迄に一萬五千人を算すべしとの事なるが一方之れを收容する監獄の設備は之れに伴はず今日にて坪四五人以上の收容を示しつゝあるが目下繼續新營中の西大門海州咸興三監獄の竣成するも尙ほ大に增築の必要あるべしと

◎安東の木材界

鴨綠江採木公司の調査に依れば六月二十五日の著筏數は一千四百九十三臺約五十八萬二千連にして內賣買取引濟のもの八百四十七臺約三十三萬五百八十七連を算せるが本年は丸太材の產出頗る多く市價は六月初旬に於ては流筏の好況を傳へ一般に下押の狀況なりしに下旬に入るも尙ほ適當の出水を見ず山地の事業は各小谷の管流にも支障を來せるを以て流下數に就ては稍悲觀せらるゝに至れり加ふるに本年は支那人の所謂十一龍治水と稱する年に相當し水量多しとせば非常の大水を見るか又は全く涸渴する年にて天候の順調を缺くとさへ言ひ傳へられ爲に頃日來市價は稍活氣を呈し紅松二千寸以上のものは二分三四厘を唱ふるに至れり

◎東淸線一部讓受に就て
考慮を要する諸問題(東京消息通談)

東淸鐵道哈爾賓長春線半段買收の事は既に確定せる事實らしけれど實際上に權利の移轉せらるゝは正式契約調印一箇年後の由なれば尙多少の餘裕ありと謂はざるべからず

▲賣買價格 は一哩約十萬圓見當との事なるが普通の鐵道にて隧道も橋梁も無き箇所にては一哩七萬圓位の建設費にて可なれば今回の買收價格は決して高價なりとは言ふべからず愈々權利移轉の後に於ては思ふに滿鐵の經營に委せらるべけれど經營開始と同時に著手せられざるべからざるは其

▲軌幅の改正 にあり若しゲーヂを其儘とせば[illegible]に於ては車輛を新造せざるべからず是れ頗る融通の利かざる話なればゲーヂ改正は先づ差當り第一に著手せらるべき事業ならむ次に

▲連絡設備 なり恰も滿鐵東淸兩鐵道接觸地點として長春に設備せられし如き停車場設備は勿論附隨する諸設備乃至大和ホテルの如き設備を移轉せざるべからず長春の設備は餘程の支出なりしには相違なけれど今後に於て長春の位置は當然第二松花江岸の陶賴昭若しくは老燒鍋に移さるべく、更に或は四鄭線の敷設、或は吉會線の敷設等北滿の事態多からむとするに際し起らざるべからざるは滿鐵本社の

▲奉天移轉問題 なり大連が露の獨下に在りてこそ浦鹽と相對して重要の意義をも爲し隨つて曾ては多額の建設費も投下せられたれ、我國の支配に移りたる後に於ては是が非にても露國の設計を繼承經營するの必要ある筈なし即ち奉天及び以北或は附近の南北滿洲に於ては鮮鐵を經由してこそ東京乃至大阪と最も短時日の裡に交通し得るなり何を好んでか迂廻大連に出で時日を遷延せしむるの要あらむ須く滿鐵從來の方針を變更して本社を滿洲の樞軸、滿鐵中央たる奉天に移轉せざるべからずこの議論も起り來る然して尙次に起るべき問題は

▲鮮滿鐵道統一 にして滿鐵鮮鐵は素より或は吉長線四鄭線の如きも總て同じ命令を發せらるべき統一せられたる一經營者の理想の下に活動すべき組織となす事なり稍や問題過大に及びたりと雖も鮮滿の鐵道を議せんには必ず此處迄行くべきものにして又行かざれば徹底せざるべしと思はる

◎ル總督著京期

印度支那總督ルーム氏一行は廿八日朝入京の豫定なりしも途中山陽線一時不通と成りし爲め同日の列車連絡船に接續せず爲めに同一行は廿七日夜下關より乘船、廿八日朝釜山上陸同夜九時南大門著入京の豫定なり

◎釜山の選擧界
會頭大池氏か

商業會議所會頭候補者としては釜山の元老とも稱すべき大池忠助、迫間房太郎兩氏各鎬を削りて爭ひ來りしが是れ釜山の平和を破るものなりとて中立たる金曜會(銀行團)より兩氏に候補を斷念せしめ一銀支店長河野正次郎氏を推擧せしめんとしたるに兩氏之を拒絕したり然るに廿七日朝に及び迫間氏は釜山の平和の爲め斷然會頭候補を辭退する旨を聲明したるよりさしも混戰狀態にありし選擧界も一時に片付き廿七日午後一時より發企人會を開き席上豫算及び役員選擧期日の二案を附議し廿八日午後一時より會頭其他の役員選擧を爲す事となれるが當日は右の理由に依り會頭には大池氏大多數を以て當選するに至るべし(釜山特電)

◎琿春大豆油出廻

本春來浦鹽方面輸出の不振其他地方經濟界の一般的不況より賣行不振となりたるに淸津經由內地通過輸出を招致したる琿春大豆油の淸津通過は益々好况にして四月中七千七百圓なりしも五月中に於ては一萬一千八百十圓に達せり又た間島地方にても相應生產あり旁々之が出廻を誘致し四月四百十九圓なりしもの五月に於ては一千三百七十七圓の輸出を見たり

◎船津輕鐵工事

慶南船津輕鐵は昨秋より工事に著手の豫定なりしも市況不振の爲め捗込み進捗意の如くならざる爲遂に本年八月迄延期するの止むなきに至りしも過般創立委員上京し某有力者と協約成立し不日某氏の來晉實地を踏査の上八月中旬より工事に著手する由

◎平壤排水工事

平壤の排水工事及び防水工事に關しては曾て報道せしところなるが排水工事は大正三年より三箇年間の繼續事業とし其第一期及び第二期工事並に防水工事は既に完了せしが目下第三期工事に著手すべく本工費は六萬七千圓にして該工事中鐵管製作は府直營とし鐵管の運搬及び該敷設工事は受負に附すべく目下該工事の認可指令を待ち居れり

◎鮮銀券發行高

六月十八日より二十四日に至る朝鮮銀行券の發行平均高は二千八百五十六萬三千五百十圓にして內正貨準備一千萬八千百五十四圓保證準備一千八百五十五萬五千二百五十六圓なり

◎各團隊長歸任

團隊長會議の爲め入京中なりし大村第卅七旅團長、山田第七十三聯隊長、加藤第七十四聯隊長、成田工兵第十九大隊長は廿七日朝龍山發元山を經て歸任の途に就けり

◎新設學校の敷地

京城學校組合より其筋へ認可申請中なる新設學校の敷地は未だ認可の指令に接せざるも府當局者の語る所によれば同敷地は最初太平町京城日報社裏手の空地約三千五百坪を第一候補地として其筋へ願出でたるも許されず今回其筋へ出願中のものは訓練院にして將來は市內各小學校の聯合運動會の如きものをも訓練院小學校に於て開催し得るの餘裕を見込みたり一萬數千坪の敷地拂下を願出で拂下の認可も間もなく下附さるゝ筈なり

◎下水溝と起債
金谷京城府尹談

京城の下水溝問題は貴紙の報ずる如く兩三年來の問題なり曾ては往年京城府に於て設計の案を具し其筋に上申したれども時期と豫算との關係上中止するに至りたるものなり然るに今日再び同問題が略其形體を整へて出現したるは誠に慶賀に耐へず、都市政策上より云へば市區改正、上水道等と共に下水溝の問題をも解決す可きものなれども獨り下水設備のみが今日迄遷延したるは其間又萬止むを得ざるの事情ありしなり、下水溝の開設は單に都市外形の美觀を添ゆるのみならず公衆衛生上及び個人衛生上多大の利益を與へらるゝものなり

▲府債償還の方法 總督府に於て起案されたる同設計は近々道を經て府に廻附されたれば府は是に依て府協議員會を開き工事に關する各種の事項に就て協議を經る筈にて豫算は總工費の內半額を國庫の補助に仰ぎ其餘は地方費及び府費を以て支辨すべきものなれども京城府今日の財政狀態より云へば到底財源を增稅に求むるが如きこと不可能なれば勢ひ之を府債に俟たざるを得ず、若し茲に三十萬乃至四十萬の府債を起すとせば其償還方法は人口の增加に伴ふ府歲入の自然增收に依るか或は場合により一部の增稅を斷行して以て年賦償還の財源とせざるべからず、假りに增稅を行ふものとするも勿論府民の負擔に耐へ得ざる如き增徵は絕對に行はざる方針なり

▲下水竣工後の利益 一言にして之を府債と云ふも現在京城居據の買收費に三萬圓の起債を爲したるものと下水溝の新設に起債を起すものとは其結果に於て多大の差異を生じ前者は今後數年間にして年額六千圓內外の純利益を得るに至るも後者は只工費に投下したるのみにて其間何等の生產的意味を包含せず。併しながら下水溝にして竣工せば積極的の利益はなきも都市の衛生狀態をして健全安固ならしめ延て衛生費の支出額を減少せしむる等消極的の利益を崇ること一二に止まらず、故に府民は宜敷本事業に對し一齊に諒意を表し一日も早く事業の落成を期す可き覺悟あることを希望するものなり

◎府郡係主任會同

京畿道に於て開催中なる府郡係主任書記會同第二日は二十七日午前八時宣化堂に開會松永長官統裁の下に午前午後共諮問事項に對する答申ありて午後四時散會せり

人事消息

▲宋秉畯子 廿七日朝淸砂へ
▲木尾虎之助氏(代議士) 廿七日夜大邱より歸京
▲中村高等法院檢事長 廿八日午前九時二十分發咸興へ出張の豫定
▲木村鮮銀理事 二十七日夜歸任
▲京畿遞信局貯金管理所長 二十七日夜發東上
▲御代辰三郎氏(精糖社員) 二十七日夜入京天寶山へ
▲川井彌巳氏(代議士) 入京中の處二十八日朝退京の豫定

◙南言北語◙

濱尾新男は萬事物事に綿い質だ相な樞密院特別委員會でも其質問と來たら頗る長々しいものだと云ふ▲烏渡した法文の一條を質すにも二日がかりと云ふ入念なので委員長も聊か持て餘す相な▲或時の委員會で餘り男の質問が繰いので淸浦子が逃げ出せば▲例の三浦將軍も流石に沿らなくなつたと見え「一足坤の濱の尾長しながく〱と行きつ戾りつ春や暮れなん」と一首を委員長の卓上に殘してサツサと出て行つて仕舞つたと云ふ事だ▲三浦將軍と云へば每度所々から送り物が來るが大抵食物だから一々返すも面倒だと置けば腐つて了ふので食つて仕舞ふ▲而ふするとスグ後から紙や絹や紙を送つて來て何うぞ御揮毫をと來る▲すると大概は返却して仕舞ふが或時懇意な人から特別に一つと賴んで來た▲將軍はいくら懇意でも特別でも無代では賦だ羊羹の一本も持つて來いと云つてやつた▲すると羊羹三本に紙四枚を持つて來た將軍は直ぐに筆を執て三枚書いて一本一枚の約束、だから一枚でも負けるのは賦ぢやは白い▲犬養木堂君は紙や紙を送つて來ると活字摺りの葉書で多忙で書けないから取りに來い三日間其儘にして置くと遺失物と認めるは犬養式に出來て居るが▲處が交詢社で硯の鑑定を並べた許りに諸方から硯の鑑定を賴んで來る▲いくら斷つても十や二十は每日の樣に來るので閉口して居る▲豚に振つたのは安東縣から二貫目もある硯を送ると云つて來たから早速斷つてやると▲手紙が行き違ひになつて硯が來た計りなら好いがマケに一圓二十錢の關稅迄も付て居たのでオーヤオヤ▲流石の犬養君も全く口は禍の門也だよと大にこぼして居る相な

◎咸北漁業近況

[illegible]漁獲を增大する時期なるが今[illegible]の消[illegible]高値なる[illegible]平均生鮮一尾二錢以上[illegible]鮮移出地別は神戶二十三萬千三百三[illegible]十二府下[illegible]八千[illegible]百七十[illegible]二日六十七萬尾を水揚した[illegible]道沿線各地に頒布せられざるもの最も多く例年釜山近海より江原道沿海に[illegible]の約倍額の高價を維持し居るの有樣[illegible]とて淸津附近の漁業も高騰して一尾[illegible]工夫金子[illegible]二十九日午後[illegible]

中學世界 七月號
定價金二十三錢郵稅二錢 前金一冊一圓八十三錢 稅共 十二冊三圓七十錢
表紙は櫻井陸軍大尉案 口繪は巖谷小波氏筆の
◙騷動(新學生訓)……三宅博士
△青年と立憲思想……浮田博士
△東京通信……長谷川誠也
◙薩南に健兒社……今村
△白金結の話……鳴居博士
△運命時代(戲曲)……山內秋生
◙學生小說 銀杏の宿(三十頁の長篇讀切)……淸水都代三
受驗參考記事
▲愕かざる心(高等學校受驗生へ)……
▲英語問題の難關……
▲數學解き方の誤謬……杉山五郎教授
▲國漢文問題と作文受驗の新傾向
▲日本アルプス(山岳趣味談)……鳥原
▲發明的男兒袁世凱……
▲蒙古襲來……元の使を斬る……
▲雀斑の甚太(小說)……
東京本町 博文館

直輸入 土木建築 金物商
諸官衙御用達
京城本町一丁目 佐野彥商店
電話一六三番 振替京城一二三〇番
千代田生命相互保險會社代理店
名古屋鰤商株式會社代理店
日本石油特約販賣店

婦人之友 七月號 健康號
女性的經驗……三宅博士
一夫一妻は世界の原則=女性の貞操問題 下田歌子と淸少納言=女性と名譽の關係
無知から來る女の不健康……羽仁もと子
女の若死……二階堂統計官
▲統計の上から見た日本婦人の健康問題 ▲日本の女に死亡率の高いのは何の爲か
◎髮と服裝を改良せよ……大澤博士
◎女は何うしたら健康になれるか……吉岡彌生
◎冷水浴三十三年……棚橋校長
◎斯うして住居を淸潔にします……山田わか子
◎如何なる狀態を健康と謂ふか……廣川醫學士
◎女に特別な健康法……佐久間醫學士
◎年來の便秘を癒して健康になつた經驗……佐藤紅綠
長篇小說 朝の歌……
▲健康的な子供の生活法……學校を出てから
▲一人の子供にかゝる手數……海外の友より
▲口あたりのよいお惣菜……新式早縫の秘傳
▲手際よき絹物洗濯法……簡易造花の仕方
▲志摩野氏伸子張の仕方……夏向の髮かたち
模範的 婦人用語 雇人を數人に出す時と云つたらよいか
一冊廿錢郵稅一錢五厘 半年分共一圓廿錢
東京雜司ヶ谷 振替東京一二六〇〇 婦人之友社

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行
電話 [illegible] 振替貯金口座 京城[illegible]
支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

合資會社熊野商會ハ解散シタルニヨリ會社ニ對スル債權者ハ本年八月三十日迄ニ申出有之度若シ其申出無之時ハ淸算ヨリ除外可仕候
大正五年六月二十六日
京城府古市町十四番地
合資會社熊野商會
(申込場所同所)
淸算人 成江松之助
同 中村恒彥

……鰹網漁業の綿絲漁業に移らんとし總計三百萬尾價格約四萬[illegible]五圓に達し前年同期に比し實に二萬[illegible]圓の激増を見たり而して共し前年同月に比し四千四百七十五圓[illegible]

之が爲め本月中旬迄は最も漁獲數而して本春は南鮮地方同魚價も比較的[illegible]百五十七圓の激増を見たり

二十七日ヤ八月限　（寄付）十一圓六十九銭

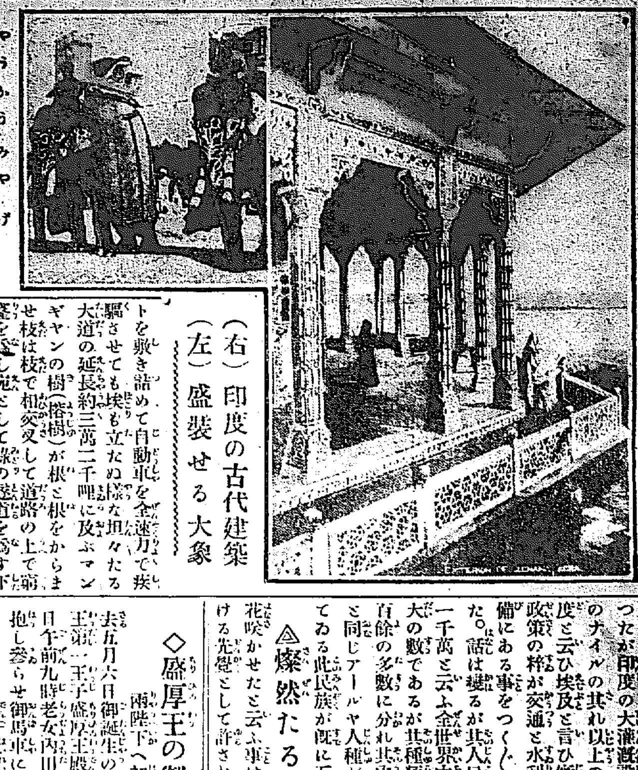
[illegible]清津、元山を經て江原地方を中心として鐵[illegible]爲め鰹漁船の市價意外に騰貴し前年[illegible]地は釜山本年釜山方面の鰹漁業の不漁なりし[illegible]地方[illegible]居りたるが元山方面に仕向けられつゝあり

●共謀して賊を働く　全北益山郡益山面木川浦大工金明光（二五）同里[illegible]こと發覺し其筋の手に捕へられ全州法院支廳に於て笞九十に處せらる

洋行土產（一）

＝英國の殖民地經營＝印度の人口と面積＝大平野の運河＝山々數と佛教＝掘り拔き井＝朝鮮と印度

總督府技師　坂田鳴海氏談



（右）印度の古代建築　（左）盛裝せる大象

是れで一通り世界を一周して來た譯だが最初に立寄つた印度の事に就て尚少し話して見やう、印度と云へば我々にはお釋迦樣の生れた處だと云ふ事によつて幼い時から可成り親しまれた名ではあつたが扨て然らば印度に就て何を知つてるかと言へば非常に暑い國、黑奴の居る處、佛教の源泉地

△北にヒマラヤ山を　負うた國、尚一歩進んでも棉のよく出來る國位で內容の詳しい事は餘り一般に知られてゐなかつた實に我々の印度に對する智識は餘りに淺薄膚淺を極めてゐたと云ふ事を私は今度親しく印度の內地を旅行して沁み／＼と味ひ非常に驚いた無論豫め承知してはゐた樣なもの丶其の茫然たる大國である事、人民の數の莫大なる其等の事にさへも今更乍ら驚いた樣な次第である印度の面積は露西亞を除いた全歐洲と匹敵し人口は約三億と云ふから

△全日本の四倍強　に相當する東にガンヂス、西にインダス、南にキストナの三大河あり北方國境には人も知るヒマラヤの大山脈連亙しさしも百八十幾萬方哩と云ふ尨大の地域の殆ど大部は何處に行き何處を見ても唯茫漠として山の影も見られぬ樣な大平原に充ちてゐる然も此大地域に對して英國政府の施設は各般の完整を見せてゐる印度に於ける英國の植民地經營上の成功を稱せんと欲せば先づ第一に交通と水利事業の完成を數へねばなるまい鐵道の

△延長は三萬五千哩　で日本の約五倍に當り、アスファルトを敷き詰めて自動車を全速力で疾驅させても埃も立たぬ樣な坦々たる大道の延長約三萬二千哩に及ぶマンギヤンの樹（榕樹）が根と根をからませ枝は枝で相交叉して道路の上で宛ら緑の隧道を爲す下を自動車で疾驅する時は流石に快哉を叫ばしめられる北部のインダス、ガンヂス兩河の間に介在した大平野の如き長さ千二百哩幅二百哩と云ふ廣袤であるが其大平原に對してさへ

△縱橫に運河を掘鑿　して灌漑に資し其岸には並木を植ゑ一には河水の蒸發力を減じさせ一には縱橫に張つた根によつて水害を防がしめてゐる運河許りでなく山麓に大堰堤を築いて山間からの流水を溜めた琵琶湖程の大溜池から朝鮮あたりで往所に見得る小溜池、河の水を堰き切つて溜めた處や直接に河や運河の水を引いてるのや其所に應ずる樣に種々樣々の金力と機械力とを盡した施設をしてゐる私は不幸にして遂に埃及の

△ナイル河の河水を　利用した大灌漑を見る事が出來なかつたが印度の大灌漑設備は寧ろ埃及のナイルの其れ以上のものである印度と云ひ埃及と言ひ實に英國の植民政策の粹が交通と水利との施設の完備にある事をつく／＼と思はせられた。話は繼るが其人口を見るに三億一千萬と云ふ全世界中支那に次ぐ莫大の數であるが其種類は詳別すれば百餘の多數に分れ其內でも日本など同じアールヤ人種が最大多數を占めてゐる此民族が既に五千年の大古に

△燦然たる文明を　花咲かせたと云ふ事は正に世界に於ける先覺として許さねばならぬ證據である印度教、回々教、佛教等の立派な宗教をも持つてゐたサンスクリツトの樣な文字を持つてゐた大宗教家、大哲學者、大詩人、大數學家も出してゐる實に印度の過去は堂々たるものであつた其れを現在に於ては英國の最新文明の施設が完全に開拓してゐるのである印度に於ける富と言へば殆んど農產物に限られてゐる樣であるが仲々大抵ではなくてゐる兎に角地域が廣い丈けに何か一つ產物があると言へばすぐに三億五億と云ふ金額である。南方のマドラスは北方の樣に地域は廣大で無いが其れ丈けに總ての趣が非常によく朝鮮と似てる一體にモンスーン（雨季）に強雨があると他は殆んど照り續きなのだがマドラスの十二月は恰度朝鮮の昨今位の氣候で每日々々ジメ／＼とした雨が降續き山間を見ると

△堰き切つた溜池に　漫々とした水が溜り田面を見れば土人が頻りに植付けをやつてゐる其樣子が實に朝鮮によく似てるが唯違つてるのは植物で田の畔には例の[illegible]樹がニョキ／＼と生へてゐると云つた有樣である（終り）

□又も戰爭

▽危機一髮の米墨　▽纏綿したる因緣

此年しや戰爭の當り年世界戰亂の渦中から避けて黃金の雨を降して居た米國迄が又々戰爭をおつ始めやうと云ふから能く／＼

▽戰爭の神樣　が荒れる年だ扨て此の戰爭は何うして起りかけたかと云ふと之れには却々深い事情があるが無論深い事情がなければ戰爭などの起る理由はない其の事情と云ふのは斯うだ元來墨西哥と云ふ國は開國以來

▽英雄が四方　に起つて天下の奪合ひをする處は烏渡支那に似て居るので却々厄介な國である其內でも以前ヂアスと云ふ豪傑が天下を平定してからは先づ三十年間許りは泰平であつたが七年程以前此のヂアズに對して叛旗を飜したマデロと云ふ豪傑が天下を取つてからと云ふものは愈々

▽天下の奪合　が盛になつて朝の大統領も夕には首をチョン切られると云ふ有樣其の間にはフエルタなど云ふ豪い大統領も居たが遂にカランザ將軍が南方で覇を唱へる事となつたするとヴキラ將軍が北方に占據して兩々相下らず互に睨み合つて居た元來此のヴキラと云ふのは

▽山賊の樣な　野武士の成り上りで戰爭などはお手の者であるがだん／＼カランザの勢力が能くなつて列國は先づカランザ將軍を墨西哥の主權者と認る樣になつて今年の秋には愈々眞物の大統領となる事となつた處が此頃米墨國境で度々米人が

▽墨人に殺され　ヴキラの兵隊は無法にも米國のコロンバスと云ふ町に火を付けて米人を殺し掠奪を擅にしたから米人は非常に怒つて墨西哥を征伐せよと議論が沸騰し出した米國は元來輿論の國である殊に大統領の選擧は目前に控へたウヰルソン大統領は早くも此の

▽輿論の趨勢　を看破して忽ちアンストン將軍に墨西哥出征を命じた而してヴキラ膺懲軍と名付けてヴキラを追つかけてチワワ州に侵入したが出沒自由自在で猿の樣なヴキラは却々米軍の手にをへず米軍は汗みどろになつて居る內に

▽惡疫は流行　する兵士は疲勞すると云ふので二進も三進も動けなくなつた其の內に米軍は何時迄腰を据ゑるのか、斯うして墨軍を滅す積りかと今度は墨國人が騷ぎ出した昔カリホルニア、テキサス、ニューメキシコなど

▽大きな州を　米國に取られ數年前には烏渡した事からヴエラクルーズをも米國に占領せられて米國に對しては怨が重なつて居るのみならず西班牙人の血を受けて激し易い戰爭好きな墨國人は口々に米國を倒せと絕叫し始めたのでカランザは此際人氣を失はざらん事に努め遂に

▽米軍の引揚　を要求した米國はカランザ政府には墨國取締の實力がないから一歩も退かぬと双方頑として應せず睨み合つて居たが最近兩軍は衝突し或る米國の騎兵隊は鏖殺されたと傳へられ愈々米國も決心をして州兵を國境に進めたと云ふから之から

▽眞物の戰爭　がおつ始まらうと云ふ危機一髮の處だが元來墨西哥は總面積七十八萬五千平方哩以上あつて英佛白伊の本國を合せたものよりも遙に大きいので戰爭が眞物になれば大分米國も骨が折れやう

◇盛厚王の御參內　兩陛下へ初めて御對面

去五月六日御誕生の東久邇宮稔彥王第一王子盛厚王殿下には二十四日午前九時老女內田しづ子刀自奉抱し參らせ御馬車に乘御參內あらせられ三殿御拜禮あり次で九時三十分御參內の御拜宮聰子內親王殿下御同伴　天皇、皇后兩陛下に御對面御祝儀の式を濟ませられ畢つて十一時御退出御歸還遊ばされたり

●偽證を教唆す

京畿道利川郡栗面北斗里洪濟枝（五〇）同里安相錄（四七）の兩名は安相錄の子安相烈が本年一月二十二日夜安城郡一竹面金山里の山道にて同行中の蔡東燦なる者より所持の金品を強奪したる事露顯し其筋の手に捕へられたるを知るや洪濟枝は被害者蔡東燦が證人として取調べを受くるに至るべきを推察し安相錄を免罪せしめん爲め安相錄と共に蔡東燦を訪問し京城迄の汽車賃其他旅費等を支給して其の意を含め東燦が裁判所にて取調べを受くる際安相烈の人相に相違ありとの僞證を教唆したる一件は此程水原支廳に於て證憑十分ならざる爲め兩名共無罪の判決となりたるを不當として立合ひ檢事より京城覆審法院に控訴したるが同法院に於て洪濟枝に懲役六箇月、安相錄は笞九十の處分となりたり

●山陽線の不通

山陽線和氣、萬富間洪水の爲め列車不通となり二十七日朝下關著の特別急行列車は二時三十分延著せり（門司特電）

●海賊船に襲はる

去る二十四日新潟淡水へ入港せる支那戎克船金遂和號は航海途中排園廳白沙屯沖にて二十二日朝突然海賊船現はれ盛んに發砲して停船を命じ三十餘名の海賊は勝清水以下十六名の船員を縛り上げ船內を物色して積荷を強奪し船を西方の沖合に曳行き同日夕刻沖中に解放し何處へか去りたるが該賊船は二本帆柱の輕快なる支那型船にて海賊等は興化訛の言葉なりと（臺北）

□金剛山の天狗

―鐵道の安藤さんの事―

圃『流石にゴールは智惠者だけで憎い處がある。何故つて日本に來て第一に富士の山を褒めて掛るぢやあないか。日本人と云ふ國民は富士山はいゝ山だと言はれさへすれば一堪りも無く參つてしまふものだて――』と頤をなでる

圃『俺の知つてる男に安藤と云ふ男があつて鐵道にゐるがチー』と言ひ出したがゴールと並べて置いてそして曰く『其男は謡曲が好きだ。西洋流に言へば眼玉より好きだし、東洋流に言へば飯より好きだ。若し此世の中に謡曲が無かつたら恐らく生れて來なかつたと云ふかも知れない。』『處が其安藤君に謡曲同樣の好きなものが出來たんだ。それはまるで自分の鼻でも自慢する樣に其自慢ばかりして居るんだ。』と一寸間を切つて『それはね、金剛山なんだがね。自分の家の築山位に自慢して居るんだ。若しも安藤君の前で金剛山の惡口でも言ふものなら大變だよ。それ許りでなく寄つて金剛山に遊ぶと言ふものならまるで天下の知己は我許りと言つた有樣だ。』『でも言はうものならまるで天下の知己は君許りと言つた有樣だ。そして最後に日く乾度何だよ、安藤君は謡曲の天狗になると云ふだらう、アツハツハヽヽヽ』

●盜んだ自轉車

京城呂信洞生れの金東倫（二〇）は六月六日午前十時頃南大門通三丁目の某商店の自轉車一臺（三十圓）を竊取し二十日午前中本町四丁目を乘用中本町署の巡査に發見引致さる

●石油罐泥

仁川內里生れの無職張允煥（二八）は六月十日午前十一時頃京城南山町二丁目木元某方の板塀を乘り越ゑ石油八升許り入り居る石油罐一個を竊取し本町署に檢舉され京城地方法院にて懲役五箇月の處分となる

●鑛石を盜む

江原道淮陽郡金城面九龍洞居住辛在鎬外二名は近頃採鑛熱に浮かされて金剛山に入り探し廻はつて居る內地人所有の鑛區に入り込み鑛石を盜み取り他に賣却せし事發覺元山法院支廳にて裁判の結果笞六十に處せられたり

●井戶に墜ちて溺死

全北井邑郡泰東面七田里三統權永根方雇人金一奉（二八）は二十三日午前十時頃同里の畑に麥を運び出す途中井戶に墜落し溺死を遂げたり

●八千代支社移轉

從來京城旭町三丁目に支社を置きたる八千代生命保險株式會社京城支社は永樂町二丁目七六番地に移轉したり

●齋藤商術所の移轉

旭町一丁目島崎病院跡に新築中の處今回落成したるに付同所へ移轉せり

巡業日記

（錦西山新藏）

□大錦の角力講話　角力殺すに刃物不要　種々雜々なる隱し藝

大錦關は山口九十郎閣下に招かれ鎭海要港部に於て海兵一同の爲に角力の講話をなしたその要旨は此度一行が渡鮮するに當り閣下の熱誠なる御盡力に依りて角力の

▼技術　を御覽に入れる事の出來た事は吾々一行の大いに光榮とする處であります閣下の御意に依り此の名譽ある席上にて不肖なる私が僭越に角力と云ふ事に就てお話しなする事の出來たと云ふのは重ねて私の光榮とする譯であります抑も角力は

▼神代　より起り今に至るまで盛んに行はれ實に我國固有の國技でありまして神武天皇の昔より治亂興亡を問はず今に至るまで盛んに行はれて居ります角力の精神と申しますは押さば押せ引けば押せ押して勝つので即ち

▼突進　的な勇ましい氣風を養ふのであります。私共は朝の稽古を始め方の動作を見ると等へ土俵を踏み死を得て居るのであります即ち私共が勝力士より水を受け土俵に上るのであります、次に兩手を揃へて各自其の手を三つ打つ事を『チリ』と稱へて

▼神聖　な土俵を踏むに當り大に角力を致します故に皆樣も大に角力を重んじ其の精神を失はず武の氣を養ひ大和魂を發揮せられん事を希望する次第であります。昔から角力の精神を以て鍛錬された結果でありまして大錦闘に綾川關等であります

▼近頃　の力士仲間では近代文明を十分に咀嚼してゐる者が少なくない。初め私共がり界に身を投じた時さは力士の品格操行に甚だ泥の差を生じて來た部は皆る が內地の田舍で子守達が常に唱へて居る唄に『角力取り殺すに刃物は要らぬ、雨の十日も降ればよい』と云ふ事がある此の言葉は吾等の仲間に取つては誠に恥辱となる

▼眞理　であると思ふ何しろこんなに五日も六日も雨が降り續いては親方衆は云ふまでもなく力士連中も全く顏色なく輕だ。遊びに行くにも金はなし、每日部屋に燻ぶつてゐる、そこでかういふ時には退屈の餘り空腹さなやるすると皆が

▼持前　の藝や特技を出す。甚だしきは彼の拳を擧げて目を弄けて見やう。大錦關の得意は楽器を聞き分ける事と言はれた梅川關の三味線、太刀山の大阪、淺草廻、伊勢州の浪花節、山錦の文部、[illegible]

▼洒落　で[illegible]

[illegible]廿六日又も雨らしく病中高川[illegible]に手紙を出す（廿七日鎭海にて）

▲ハートの3　大正館にては二十八日より特別大興行として寫眞界の巨人たる北米トランスアトランチック會社の傑作冒險活劇寫眞『ハートの3』は全五十卷にて每週十卷宛上場する由なるが該寫眞は撮影に二年八箇月を要しその費用五百二十萬弗、撮影尺一萬五千呎、飛行機五臺自動車二十七臺汽船六隻汽車百三十輛の外に短艇ランチ數百隻等の文明の利器を犧牲に供せるものにて十二萬四千呎の大寫眞なり

▲寶塚少女歌劇に於ける偶然の獨唱會▲喜劇ウヰンの禁足▲活動大好き紳士▲ハートの3……十卷▲喜劇舊傭の名人觀藏　[illegible]

▲遊三再び來らん　本年各興行に愛嬌者の三尺坊その他と共に浪花節に出演して人氣を集めたる東京落語三遊亭遊三は支那滿洲、山東省方面を巡業中なりしが來月早々京城に乘込み大いに涼しい所を演ずる由なり

▲壽座　○○○西濱家義劇一行の二十八日夜の狂言役割は前夜の通りなり

▲浪花館　京山恭爲の獨演會

讀者文藝

（一等には十錢の書籍券を呈す）

▼謎『藝者とかけて』

○仕掛花火と解く、心は賑かで綺麗（一等）京城　浪之助

▲狆と解く、心は鼠と顏とで持囃さる　金泉　木下凡太郎

▲蝙蝠と解く、心は夕方飛び廻る　京城　玉山

▲夏の食物と解く、心は夜通し忍ない　京城　松本朝一

▲蠶と解く、心は糸で世に立つ　金泉　岡本　寶佐

▲桃と解く、心は花も實も賣る　龍岩浦　大石　劍牛

▲金魚と解く、心は濟ても賤いても食へぬ　龍山　風食　山人

▲汽車と解く、心は時間で動く　龍山　山家　喬公

▲鼓の遊行と解く、心は彈いたり躍つたり　金泉　權藤　舟人

▲通行税と解く、心は往來（往來）で金になる　京城　高山　刀水

■募集規程

狂歌『角力』　締切廿六日　發表廿九日

俗謡『蛔み』　同廿七日　同　三十日

川柳『カフエー』　同廿八日　同　一日

物は付『迷りたいもの』　同廿九日　同　二日

一口噺『腮顛愈』　同卅日　同　三日

はめ▲　同卅日　同　四日

大同團結『渠人跪太夫とかけて』　同　三日　同　五日

▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲題目は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事總て一題二句以內の事▲此規程に擬はぬものは投書

正眞正銘　世界的大寫眞來る!!

北米トランス、アトランチック會社代表的大傑作

●撮影日數　二年八ケ月

●撮影費用　五百廿萬弗

●總編尺數　十二萬四千呎

●撮影舞臺　一萬五千方哩

等斯く貴重なる長日月と多額の財貨を費し廣大なる地域を利用したる本寫眞の如きは正にキネマ界の『レコード』破り也

振天動地未曾有の大冒險大々活劇『ハート』の３　原名『トレーオ、ハート』

●飛行機　五臺

●自働車　二十七臺

●汽車　百三十輛

●汽船　六隻

外にボート、ランチ數百隻等有らゆる文明の利器を犧牲に供したる活動寫眞革新的先驅たるシネマ界の『オーソリチー』也

全二十五編五十卷の內一編より五編迄十卷上場殘餘四十卷は每週引續き御高覽に供す

六月廿八日より上場　特別大興行　大正館

辯護士　白井水城

開城大和町（裁判所下）

一家經濟の三大秘訣　之を讀みて家計向上の秘訣を覺られよ……主幹　都河

一家經濟と夫婦の和合……[illegible]

家計の良否は主婦の働き……柳橋綱子

何うすればお金が出來るか……佐治實然

簡單な食物防腐器の作り方……[illegible]

子守から女學校の教諭になつた婦人……[illegible]

家庭で出來る西洋洗濯法……[illegible]

一家經濟號

家庭の經濟的副業　▲東京の近郊で副業に養[illegible]　▲女ばかりで働く副業[illegible]　▲勤人の副業に煙草の小賣[illegible]　▲店番しながら仮行李編み[illegible]　▲農家の副業に養雞[illegible]　▲藥用サフランの栽培[illegible]

我家の經濟的回顧　▲七百年來の舊家の倒產を再興す　▲七轉び八起した昔の回顧　▲一家出稼して家運の挽回　▲植民地にての我家の消長

主婦の經濟的讀物　▲染直しで出來た丸帶　▲素人に出來る小供洋服　▲有效な汗知らずの拵へ方　▲月收六十圓の會社員　▲月收廿四圓の小學教師　▲島に於ける新家庭の經濟

家庭小說　憂き身（詩に血あり涙ある物語）……柳川春葉

婦女界特別號　本號特價廿錢 郵税一錢 半年分一圓十五錢 一年分二圓二十錢

東京牛込加賀町　婦女界社　振替二〇二八三

內科　小兒科　芙蓉醫院　醫學士　森定吉　京城本町二丁目（瓦斯會社向側）　電話二六三番

富味豐質品卓絕中

優等　清酒　金露

登録商標

攝津灘魚崎　釀造元　大塚釀造所

各地到所信用ある食料品店に販賣せり金露印と御指定御買上被下度候

京城南大門通三丁目　發賣元　大塚京城支店　電話四七〇　[illegible]

女鳩

渡邊默禪

「二八」叔母から電話

住江は鳩子を心から愛してゐた。秀子には何となく他々しかつた。

それには無理からぬ理由があつた。七つの齢にお附にから以來、何も角も自分の手にかけて、長の年月世話をして來た鳩子である。名こそ住江と呼捨にすれ、乳母以上に、家庭教師以上に、ちやうど叔母か姉のやうな親みをもつて懐いてゐたその情緒が、母に別れてからは一入の温かさを加へて、我一人を便にするやうないぢらしい心持が、凡てのとに露れて見ゐるのであるもの、愛しがらない譯にはゆかないのである。主人とはいへ他人の子であるのに、什麼してか自分の血を分けた身内のやうな氣がせられてならぬところに、奥様がおかくれになつた後は、傷はしいと思ふ同情が手傳つてか、ます／＼不憫さが募つて來て、お父様と一緒に獵に出かけた折などは、夜もおち／＼寝つかれぬほどに案じ過した。秀子だといつて別に憎い譯ではない。又憎がるほどの道理もないのであるが、母は女優だつたといふ噂を聞いたり、家扶の鈴木が中間で計つてそれを引取る時に、澤山な手切金を取られたとかいふ話を耳にしたりすると、餘り快い心持はしなかつた。いづれ女優なんていふものは、固く結束して眞面目に自分の立場を守つてゐるべき筈の女性の群から拔駈して虚榮といふ薙刀をかざしたがる、男の中へいきなり斬込んでいつた慌て者である。彼等に女性の恥を雪ぐだけの力がない、智慧がない、つまりは性慾に餓ゑてゐる狼のやうな敵の手に生擒られて、さん／＼な嬲り者にされ、同性の面に泥を塗るのが落である。そんな者があるから男は増長るのだ、女とさへ云へば侮蔑の目を向けるのだ、と恁う解釋してゐた住江の心は、所詮女優といふものと秀子とを結びつけて、さげすんだ考の下に秀子を置くやうになつた。第一その人柄が氣にそまなかつた、外面が美しくさへあればそれでよいと思つて、お粧しばかりしてゐるのが氣に入らなかつた。音樂だの舞踏だのと灰汲がつたとにのみ浮身をやつしてゐるのが、疎ましくつてならなかつた。時としては、どうせ女優のお腹にできた人だもの、誰の胤だか分らない、といつたやうな呪はしい心になるともあつた。が、それは間違であると自分で氣づくともあつた。何であらうと主人の血統をひいたお方である、出來る限りは眞心からお盡し申すのが、自分の責任である、と恁う思ひ直して見ると、附うした賤しい腹に生れた秀子の不仕合な運命が、つく／＼と痛ましかつた。同情もされた。そんな折には鳩子よりも猶一層氣をつけて勧つてやつた。けれども兎角に長持がしなかつた。どつちが眞實の自分の心やら、彼自身で迷ふことも度々であつた。

主人一行が山形へ出發してから、留守跡を預つた彼は急に重荷を背負つたやうな氣がした。その故でもあらうか、平生のやかましやが輪をかけて厳ましくなつた。鬼の留守の洗濯を爲ようと思つてた召使共は、却つて餘計な窮屈を感じた。みんな腫物にさはるやうにはら／＼してゐた。主人の伴をした大野勇から、子爵は福島に一泊、吾妻山脈に二日の間兎狩をして、途中米澤に一泊、只今山形に著いて山形ホテルにお泊になつた、明日はいよ／＼目的地に向ふ筈、お二人から獵犬三頭までも凡て健全。といふ知らせの手紙のついた其の日の午後だつた。何處からか女の聲で電話が懸つて來た。それを取次いだのがお孝だつた。

『お孝さん、どちらから。』

茶の間にゐた住江が訊いた。と、お孝は澄ました顔で

『私へ……叔母さんから……いゝえ、何でもありませんの、晩にちよつと尋ねて行くといふだけのことなんです。』

『然う。』

住江は聞流しにして、別に氣にも止めなかつた。

院長事久敷歸郷中の處昨日歸院從前の通り診療に從事仕候間此段謹告候也
六月廿六日　京城壽町四一
婦人科 産科　二宮醫院　電話一二〇一番

奉賛會献金者

▲十一圓廿錢首藤定外二十名▲五圓古城龜之助▲六圓末森富良外七名▲十圓八十錢大日本麥酒會社出張所員一同▲五圓多々見五郎▲十圓淺井龍造▲五十圓韓一銀行▲七十圓水越理康▲二十六圓九十錢金性基外五十四名▲三十八圓佐藤磯次郎外二十名▲二千圓東洋拓殖株式會社▲十圓佐藤牧太郎▲十圓松浦晋治▲九圓八十錢韓一銀行員一同▲八十一圓天理教京城支會長大熊松次郎外六十二名▲三十圓三越呉服店出張所員一同▲十圓喜多タネ

新刊紹介

▲家庭小兒科醫典（瀬川博士校閲 島崎昭吉）本書は各種小兒病の原因預防手當家庭療法、看病法より衞生、授乳、飲食等の事に亙る迄苟も親たる者の心得置かざるべからざる育兒上百般の事柄を親切明細に詳説したものにて文字も頗る平易にて他に比なき家庭の顧問なり朝鮮地方等に居住し醫師の充分ならざる家庭には必ず一本を備へざるべからざる好著なり（一圓五十錢東京南山堂）

▲最新健康法全書　本書はアドルフ、ジヤストの健康法、マアガレツト、エクリイプスの光線療法、藤岡、川合諸氏の運動療法、ニツプの水治療法、食養法、石塚療養所の食養療法、二木博士等の呼吸療法、サンドウーの實理療法を網羅せるもの根本的の治療法を幾多の實例を擧げて縷述せるもの行文平易にして何人と雖了解し且實行し易からしめたり（一圓東京市小石川區原町丙午出版社）

▲會報（一號）本會報は細川侯を總裁とし川上親晴氏を會長とせる東亞通商協會の會報にて殆ど旅本鮮人より組織され滿蒙南北支那北伯所謂東亞に於ける通商を討究せし一種の報告書なり材料當初研究者の坐右に備ふべき好諸たるを失はず（非賣品東京麴町區內東亞通商協會）

▲鑛業新報（一七四）二十錢東京市麴町區富士見町五の九其社

▲婦人週報（二の二六）四錢五厘東京市牛込區市ケ谷田町一七其社

▲隨鷗集（一四〇）二十五錢東京府千駄谷町五二四其吟社

▲平民醫學（創刊號）實費診療所を組織し中流以下の貧者救濟に盡力しつゝある加藤時次郎氏一派の同志が醫療研究を發表したるもの（非賣品東京市京橋區木挽町六の一〇）

▲婦人世界（一一の八）醫所の無駄な省く賄方の新工夫、新案の夜具と小兒生服、醫母の與らざる告白、芝居の先代萩の實說附ヘ、家計の不足な頗つ要君に、三人前三十錢の西洋料理等いつも作ら家庭本位の雜誌なり（十七錢東京市京橋區南鍋屋町實業之日本社）

▲雄辯（七月號）出色の文字を以て滿さる、倒致國に出敎亡ふ（臨木日南）高松宮職事件の鎔護週記（大井法學士）ペンゴリー文學に於けるメゴールの位置（北岡赫人）國從國境より（守田有秋）等より引つゞき源氏物語（川島慧一郎）及び男女學生交際是非論の討論採點成績を發表せり（三十錢東京市本郷區駒込坂下町大日本雄辯會）

▲英語精習（七月號）十二錢東京市芝區南佐久間町一の一其社

讀者の領分

▲二十五日朝刊本欄の南米倉町の住人君に申上ます蠅の發生は廃茶の不始末です動植物性の腐敗物でもあれば蠅が卵を産み付けます若しや御近所に廃茶を掃溜め又魚腸類などを投棄しある所はありませんか左樣な處あれば必ず白き蛆が居ります之れが蠅の幼蟲です熱湯を注げば死にます生石灰汁クレシン又は石油など注いで宜しい若し始末が付かねば電話一七七四番（府衞生實行事務所）へ御通知下さい又南米倉町附近は市場のある關係から他所に比し蠅が多い樣です市場の蠅の驅除方法に就ては講究中です（田中生）

▲吾人は聊か社會制度改善にも効あれがしと思推する爲め本書を呈し候へども活動寫眞の男女席てふ事に就いては一考仕度候吾人はそれがため事極めて僅少の思想の根底を覆されむ程の不取扱を受け申候（黄金町の住人）

▲京元線の某地の郵便局にては金錢仕拂に事務員病氣の爲缺勤せるを以て金錢仕拂を一週間餘りも延引せられた事務員缺勤せば仕拂出來ざるか亦局には事務員一名にて他に局員なきか生活最下等の我々は大に困る（其の日稼）

入院隨意　京城南大門通三丁目（藤木商店隣入る）　胃腸病院　電話一六五九番　院主 佐々木杏造

商況

大阪期米特電（廿七日）

▲二十七日後場▲大阪額此十三圓四十三錢後寄四十錢の入……五十六十九錢と二錢安に寄付たるも買……

下關期米特電

▲二十七日前場（前年買あるも値頭に……）

▲大阪の成行

塲（高値 十一圓七十二錢／安値 十一圓六十九錢）出來高 五千七百石

七月限 五萬三千五百石　八月限 七萬九千四百五十石

●事務員の橫領　……京城郵便……二十五圓を橫領消費したる爲……懲役六箇月の處分となりたり

●暴風警戒（六月廿七日……）

祝仁川支局發展　仁川支那町　仁川水産株式會社　電話二八六番

祝仁川支局發展　仁川山手町穴門通　齒科診療　東京齒科醫學士 飯塚喜四郎　電話三五〇番

祝仁川支局發展　仁川山手町二丁目　葬儀請負 佛具放賣　仁川葬儀社　電話八二九番

祝仁川支局發展　仁川金物商組合（いろは順）
仁川本町三丁目（電話四二七番）德本商店
仁川海岸町一丁目（電話一四九長七番）加來商店
仁川本町一丁目（電話五六番）村谷正夫商店
仁川本町二丁目（電話三〇番）村谷勘商店
仁川新町一丁目（電話一八番）美濃谷金物店
仁川本町四丁目（電話二六番）白神洋行

祝仁川支局發展　官製煙草仁川組合（いろは順）
仁川本町四（電話八六番）井上藤吉
仁川本町四（電話二八番）河野竹之助
仁川京町二（電話六六番）鬼頭兼次郎
仁川本町四（電話二番）鈴木倭

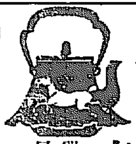
祝仁川支局發展　登錄商標 石坂磨擦精白米　於大共進會金牌受領　仁川本町二丁目　奥田貞次郎商店　電話五一番
仁川山手町三丁目　奥田精米所　電話六〇八番
大連岩代町　奥田精米出張所　電話四八五番
東京神田區佐久間町三丁目　奥田出張所　電話下谷四六五一番

祝仁川支局發展　仁川京町二丁目　福西製粉所　電話三二六番　振替京城八〇〇番

白菱四六判正五十三斤拾七萬參千枚右購買ス詳細ハ六月二十七日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ　朝鮮總督府

購買入札　一フオルマリン七千磅開城出張所納右購買ス詳細ハ大正五年六月二十九日以後ノ本府官報ヲ見ヨ　朝鮮總督府

南部鐵瓶　岩手縣二戸郡一戸町　問屋 高見虎五郎　振替東京八六六四　御照會次第見本定價表進呈



新刊書御案内（書名・著者・定價）
◎大增補模範英語辭典　特一、八〇
◎支那研究　教育學術界　一、八〇
◎臺灣殖民發達史　東鄕實　一、八〇
◎電信及電話　久高 亮喜　一、〇〇
◎自修實用最新簿記の覺方　翁分可任　七〇
◎手數のいらぬ新らしき珠算の秘決　佐々木政吉　五〇
◎工業化學便覽　勝部 光　一、一〇
◎禪學應用強膽術　藤田 靈山　九五
◎安産のしるべ　岩崎 直子　九五
◎新俳句自在　中内 蝶二　一、二〇
◎特許秘訣陣立くづし法　土岡市太郎　五〇
◎日本經濟論　稻戸 稻雄　一、三〇
◎女史原著エレンケイ兒童の世紀　原田實　一、三五
◎卒業してから　手塚 辻人　五〇
◎クラーグ入門　服部義唐　四五
◎東西文學比較評論　吉安卯郎　三、〇〇
◎アダム以前　堺利彦　八〇
◎肩揚を下して　鈴木 秋風　一、〇〇
◎寶劇論集　小山内 薫　一、〇〇
◎海の趣味　若林 欽　一、〇〇
◎銀の鍵（上）　柳川 春葉　一、三〇
◎初對面　柳川 露陽　九五
◎縮刷修省論　幸田 露伴　一、〇〇
◎遊蕩のざぼとけ　久世 勇三　九五
◎新式圍碁寶典　五段鈴木爲次郎　三、八〇
◎受驗者必讀法律講義　阪上孫吉　特七五
大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六　振替京城二五七三

質　京城黄金町二丁目（永樂町停留所北入）　堀佐營業所（電話六三九番）

花柳病外科專門　◎梅毒◎淋病◎泌尿生殖器病◎睾丸病◎肛門病◎皮膚病◎婦人病◎神經衰弱◎六〇六注射包皮其他手術◎入院隨時　◎診察無料　京城南大門通農工銀行裏　司生堂醫院

ルーデサック BA　十個四十錢　越形以上增　一個廿五錢女用一個八十錢　十個六十錢　割引外に要送料郵券代用一廿個一廿割　京城黄金町三　山田文殊堂藥房

先考葬送ノ際ハ遠路御會葬被下難有奉存候午略儀以紙上御禮申上候敬具
大正五年六月二十八日
男 朴巖伊

保證の出來る得る煉乳には　ヒシ印の商標あり

金泉醴泉間自動車發着時間
上り一番・二番　下り一番・二番
金泉發前八時　金泉著前九時……
金泉織居自動車支部　金泉電話四八番

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行　六月廿七日後五時出帆
元山、淸津、浦鹽行　六月廿七日後十時出帆
門司、神戸、大阪行　六月廿九日後十時出帆
元山、城津、浦鹽行　六月廿九日後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行　六月三十日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行　六月……日後六時出帆
住須奈、嚴原、壹岐、博多行　毎月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
本船取扱店　釜山本町　大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
第三共同丸　六月廿七日後二時入……
第一阪鶴丸（元山出帆）　七月一日前九時出
芝罘、大連行　七月……日後九時出
西湖津沿岸各港を經て雄基行　七月……日前八時出
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆
全羅丸　七月一日　釜山發
京畿丸　七月十日
黄海丸　七月十五日
咸鏡丸　七月五日
（門司より釜山各港寄港雄基間航路）
穩城丸　七月二日
昌平丸　六月三十日
鏡城丸　七月六日　元山發
（元山より各港經由雄基行）
忠淸丸　七月六日
平壤丸　六月廿九日　元山發
（城津淸津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行）
永興丸　毎月廿八回　元山發
（北久味、五里浦行）
盈德丸　七月四日　釜山發
（甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行）
江陵丸　毎日　釜山發
襄陽丸　毎日　浦項發
三浦丸　六月三十日　釜山發
海州丸　（昌原）……
統營丸　毎日　釜山發
順天丸　三日目毎　木浦發
公州丸　六月三十日　木浦發
光州丸　七月一日　木浦發
慶興丸　七月四日　木浦發
宗信丸　七月一日　仁川發
江原丸　七月七日　仁川發
麗水丸　七月一日　仁川發
晋州丸　七月五日　仁川發
錦江丸　毎日午前　仁川發
南陽丸
京城切符發賣所　京城南大門驛前松原運送店（電話長一七〇番）
仁川支店

大阪商船仁川出帆
群山、木浦、釜山、關門、神戸大阪行　安東丸　七月一日
天草丸　七月八日　後五時出
漢州丸　六月廿八日　後二時出
釜山、關門、大阪行　鐵嶺丸　六月廿九日
信濃川丸　七月四日　後二時出
木浦、釜山、關門、神戸、大阪行　安東丸　七月二日　後二時出
信濃川丸　七月十七日　後二時出
福州丸　七月十二日　正午出帆
大連直行　日米丸　六月十二日
群山、神戸、大阪行　宮島丸　六月……日　後五時出
淸津、浦潮行（元山出帆）　福州丸　七月十六日　後二時出
印八城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港　須磨丸　六月廿八日　後二時出
宮島丸　七月四日
上海、基隆、打狗行（大連出帆）　城津丸　七月七日　後四時出
湖北丸　七月九日　前六時出
京城切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二番二一一番

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行　君が代丸　七月六日後四時出帆
大有丸　六月三十日後四時出帆
神代丸　七月四日後四時出帆
秀吉丸　六月……日後四時出帆
仁川海岸町二丁目電話五十九番　高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
大連、天津、牛莊行　相模丸　七月五日　正午出帆
高砂丸　七月十五日　正午出帆
三河丸　七月廿六日　正午出帆
仁川海岸町一丁目電話十番　堀回漕部